

令和6年度

# 地域スポーツクラブ活動体制整備事業

地域スポーツクラブ活動への移行に向けた実証事業

## 奈良県五條市

自治体名：奈良県五條市

担当課名：生涯学習課

電話番号：0747-22-4001（内822）

# 1.自治体の基本情報

## 基本情報

面積	292.02 km <sup>2</sup>
人口	26,840 人
公立中学校数	3 校
公立中学校生徒数	535人
部活動数	26 部活
市区町村の協議会・検討会議等の設置状況	五條市部活動地域移行推進協議会 令和6年6月設置
市区町村の推進計画・ガイドライン等の策定状況	五條市中学校部活動の地域クラブ活動への移行に関する基本指針、地域クラブ活動ガイドライン 令和6年7月策定

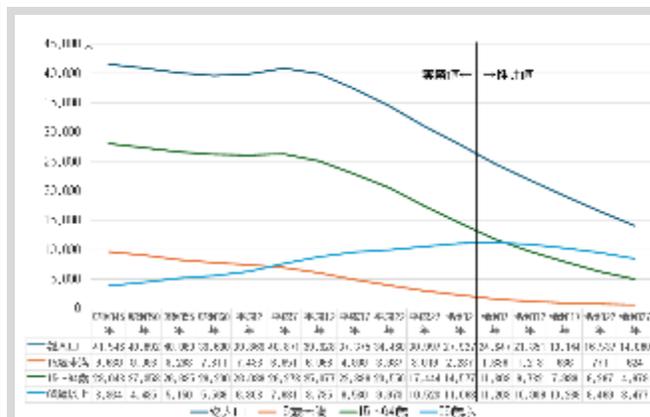
## 地域連携・地域移行における市区町村の現状・課題

### 【現状】

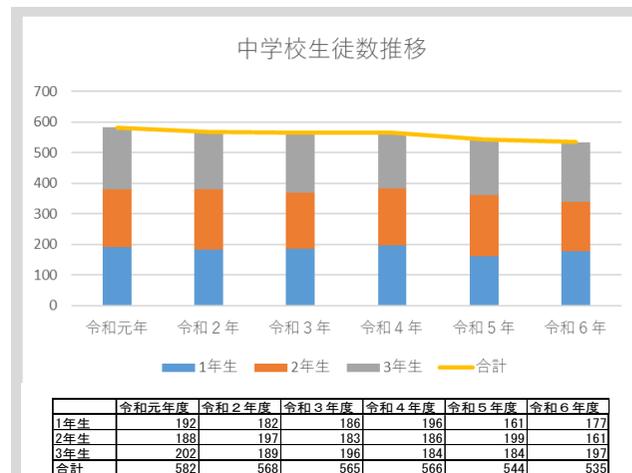
- ・本市は、奈良県の南部に位置し、人口は26,840人で過疎地域の指定を受けている。
- ・市内には市立中学校が3校あり、一部の中山間地域を有する中学校校区は広大で、さらに、公共交通機関が無いため、スクールバスの運行を行っている。また、当市は少子化により年々生徒数も減少し、令和6年5月調査の生徒数は535名である。
- ・部活動の地域移行の取組は、地域指導者が確保できた競技・部門から、各学校及び部活動顧問と協議を重ね進めた。

### 【地域移行を進める上での課題】

- ・当市は、急激に人口減少が進み、指導者として活躍を期待する生産年齢人口が少ないなか、どのようにして指導者を確保するかが課題となっている。また、市内全域で運営せざるを得ない活動もあり、地理的な課題として、活動場所が通学している学校でない場合、活動場所までの移動手段も課題となる。
- ・運営面では、財源の確保、受益者負担、金銭管理など今後も課題が出てくると考えられる。



出典：総務省「国勢調査」、国立社会保障・人口問題研究所「日本の地域別将来推計人口」  
 ※本資料の人口の出典である国勢調査は、住民登録とは関係なく現在市内に住んでいる人や世帯を対象に調査を行うため、住民登録の人口とは一致しない。  
 ※平成12年以前のデータは、以降の合併に合わせて「五條市・西吉野村・大塔村」を合計したものである。

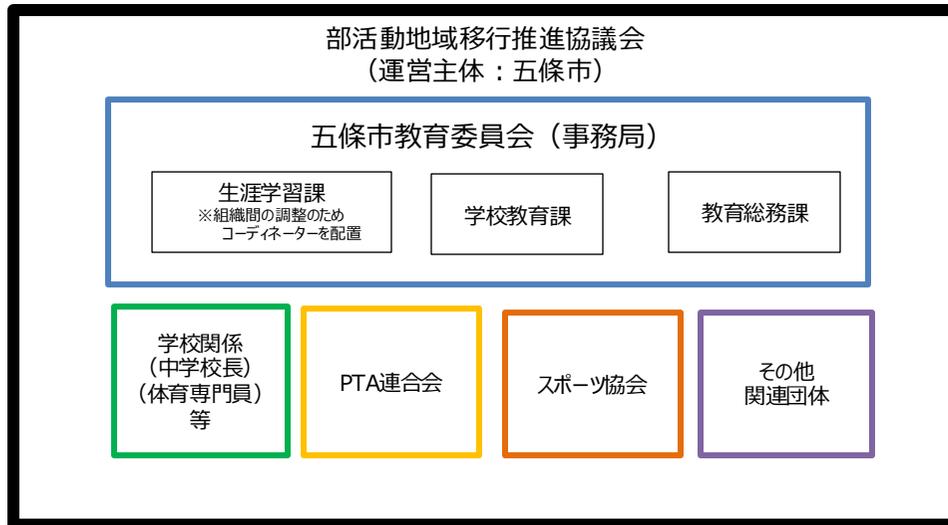


出典：五條市教育委員会事務局 ※毎年度5月1日時点調査

## 2.実証内容と成果

### 運営体制・役割

#### ●運営体制図（市区町村における推進体制図）



#### ●行政組織内での役割分担

##### ◎教育委員会

- ・市民に対するの周知、啓発活動
- ・部活動地域移行推進協議会、人材バンクの運営
- ・参加者募集や地域クラブ活動の日程管理
- ・学校との調整

##### ◎首長部局

- ・行政職員の兼職・兼業の新制度の設計
- ・活動場所の提供 ※首長部局所管の施設

### 年間の事業スケジュール

令和6年5月	・部活動地域移行推進協議会準備委員会
令和6年6月	・部活動地域移行推進協議会設立、第1回会議
令和6年7月	・五條市中学校部活動の地域クラブ活動への移行に関する基本指針及び地域クラブ活動ガイドライン策定 ・五條市地域クラブ活動指導者人材バンク設置
令和6年9月	・教職公務員及び五條市教育委員会事務局職員の地域クラブに係る兼職・兼業等の承認・許可に関する要綱制定
令和6年10月	・実証事業に向けての学校との協議開始
令和6年11月	・地域クラブ予定競技の顧問の意向調査
令和6年12月	・実証事業対象の部員及び保護者へ趣旨説明（文書配布） ・地域クラブ活動参加者募集
令和7年1月	・実証事業開始（3活動）
令和7年2月	・実証事業終了（2活動） ・アンケート調査（終了した2活動）

## 2.実証内容と成果

### 地域スポーツクラブ活動の運営実績

#### ①全体に関すること

中学校数	3校	実施した地域クラブ総数	3クラブ
ケース別クラブ数	A：部活動を地域移行した形のクラブ数（及び移行された部活動数）		3クラブ（0部活）
	B：部活動を移行する形態ではない地域クラブ（新たな種目のクラブを新規に創設するケース等）		0クラブ
全体の指導者数	56人	全体の運営スタッフ数	2人

#### ②各クラブに関すること

クラブ名	運営団体種別	種目	実施回数	実施時間帯	参加者 (学年別)	実施期間	活動場所	指導者数	運営スタッフ数 (他クラブと兼務)	会費	大会参加方法
軟式野球クラブ	五條市	軟式野球	月4回程度	日中の活動 (活動場所の都合による)	1年 9人 2年 4人	令和7年 1月～2月	五條中学校	6人	2人 (内、兼務2人)	無料	中体連：部活動 その他：地域クラブ
五條東卓球クラブ	五條市	卓球	月4回程度	日中の活動 (活動場所の都合による)	1年 5人 2年 8人	令和7年 1月～2月	五條東中学校	4人	2人 (内、兼務2人)	無料	中体連：部活動 その他：地域クラブ
五條東バレーボールクラブ	五條市	バレーボール	月4回程度	日中の活動 (活動場所の都合による)	1年 6人 2年 2人	令和7年 1月～3月	五條東中学校	4人	2人 (内、兼務2人)	無料	中体連：部活動 その他：地域クラブ

#### ③その他、体験会やイベント等の開催実績

- 実施なし

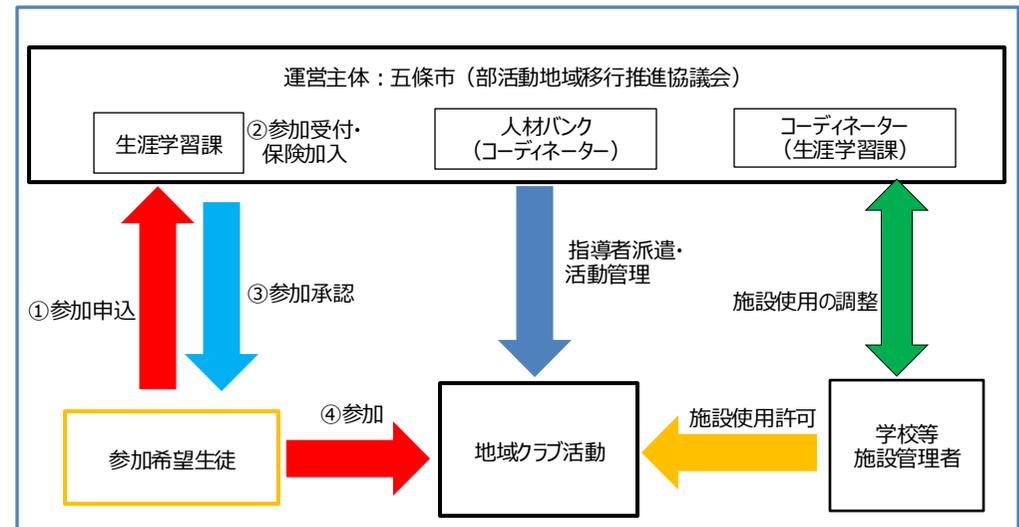
## 2.実証内容と成果

### 主な取組例

#### ●五條市地域クラブ 活動概要

地域クラブ活動で実施した種目	軟式野球、卓球、バレーボール
運営団体名	五條市
期間と日数	野球、卓球： 1月～2月 バレーボール： 1月～3月 活動上限時間 30時間
指導者の主な属性	人材バンク登録者 ※教員等の兼職・兼業を含む
活動場所	現行活動を行っている中学校
主な移動手段	自主参集
1人あたりの参加会費等(年額)	無料
1人あたりの保険料	スポーツ安全保険 生徒1人あたり：800円/年 指導者1人あたり：1,850円/年 (65歳以上 1,200円/年)

#### ●運営体制図(地域クラブ活動を実施する際の運営体制図)



#### ●指導者や運営スタッフなどの役割分担等

- コーディネーター 1名  
役割：学校との調整、活動計画、指導者の活動管理を行う
- 運営補助者 1名  
役割：保険加入手続き、指導謝金の支払等の事務手続きを行う

# 2.実証内容と成果

ア：関係者との連絡調整・指導助言等の体制や運営団体・実施主体の整備

イ：指導者の質の保障・量の確保

ウ：関係団体・分野との連携強化

エ：面的・広域的な取組

オ：内容の充実

カ：参加費用負担の支援等

キ：学校施設の活用等

ク：その他の取組



## 取組内容

### ●取組項目名 ア：関係者との連絡調整・指導助言等の体制や運営団体・実施主体の整備

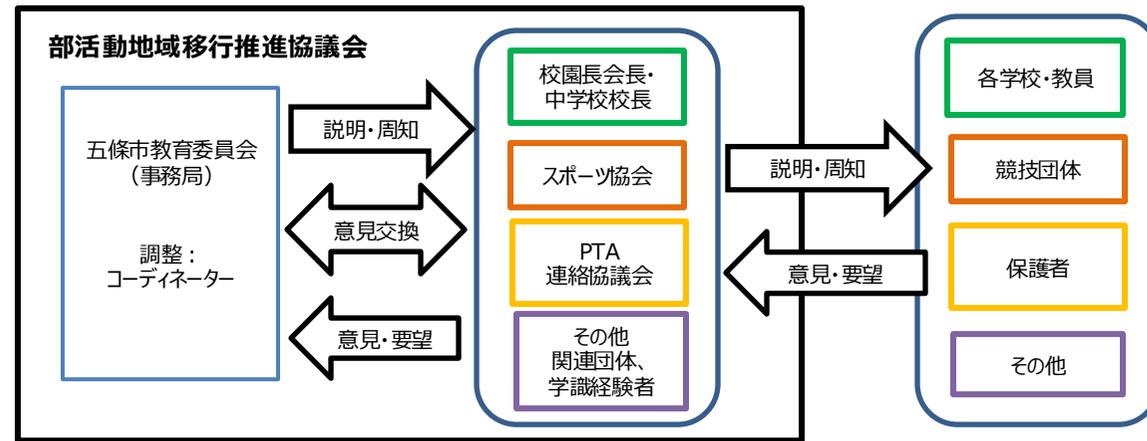
#### 取組事項

学校、保護者、スポーツ協会、教育委員会事務局をはじめ、関係団体で五條市部活動地域移行推進協議会を設置し、部活動の地域移行に関する指針、ガイドラインの制定などを行い令和8年度以降の部活動の在り方についての協議を行った。

地域指導の確保のため、人材バンクを設置し、また、教育委員会事務局では、地域クラブ活動指導に係る教員等の兼職・兼業の承認や許可に関する要綱の新設を行った。

#### 取組の成果

協議会の構成を幅広く編成したため、学校や関係機関に対する説明や啓発に向けた取組がなど運営を比較的スムーズに進めることができた。また、校園長会やPTA連絡協議会、スポーツ協会や学識経験者等の参画を得たことで、幅広く意見を集約することができた。



#### コーディネーターの具体的な動きの実績

- ・部活動地域移行推進協議会及び人材バンクの運営
- ・令和8年度以降の部活動地域移行についての周知活動
- ・組織加盟団体からの意見・要望についての調整
- ・地域の競技指導者の情報収集、人材バンク登録についての啓発活動
- ・実証事業に向けて学校との調整や部活動顧問、地域指導者とのマッチング

#### 今後の課題と対応方針

過疎地域ゆえに指導者の確保が最重要課題で、今後の対応方針は、人材バンク登録者に知り合いを紹介してもらうことや、通学圏内に大学等が少ないが、県内大学等に出向いたりすることを考えている。

学校部活動に対して、保護者や教員をはじめ社会全体の意識改革が今後の課題

# 2.実証内容と成果

ア：関係者との連絡調整・指導助言等の体制や運営団体・実施主体の整備  
**イ：指導者の質の保障・量の確保**  
 ウ：関係団体・分野との連携強化  
 エ：面的・広域的な取組

オ：内容の充実  
 カ：参加費用負担の支援等  
 キ：学校施設の活用等  
 ク：その他の取組



## 取組内容

### ●取組項目名 イ：指導者の質の保障・量の確保①

#### 取組事項

- ・市のホームページに人材バンク登録申請書などをダウンロードできるページを作成した。また、スポーツ協会加盟団体に候補者の推薦を依頼し、対象者には趣旨説明を行った
- ・人材募集のチラシを作成し、人が集まる場所での配布や掲示、さらには、通学圏内の大学を訪問し、指導者募集ポスターの掲示を依頼した
- ・各中学校を訪問し、教職員に対して市の部活動移行の方針や人材バンク、兼職・兼業についての説明を行った
- ・退職した教職員に、過去に指導したことのある方を紹介してもらうなど、積極的に人材発掘に取り組んだ

人材バンクの人数	
17名	
人材バンクの年齢構成	
10代	0名
20代	6名
30代	5名
40代	2名
50代	1名
60代以上	3名

登録者属性
<ul style="list-style-type: none"> <li>・会社員</li> <li>・スポーツ関連会社社員</li> <li>・教職員（講師含む）</li> <li>・市職員</li> <li>・大学生</li> <li>・元教員</li> <li>・元市職員</li> </ul>
登録動機
<ul style="list-style-type: none"> <li>・スポーツ協会の推薦</li> <li>・恩師・知人の紹介</li> <li>・教育委員会からの依頼</li> <li>・募集に応募</li> </ul>

種目
<ul style="list-style-type: none"> <li>・軟式野球</li> <li>・卓球</li> <li>・バレーボール</li> <li>・ソフトテニス</li> </ul>

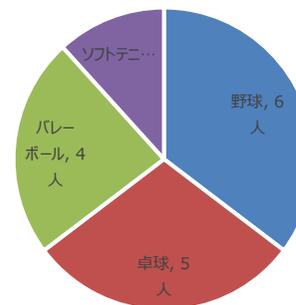
**資格有無**

特に資格の有無は求めていないが、現在人材バンクに登録している指導者は、普段から指導を行っていたり、教職経験者、スポーツ少年団の指導者などで、子どもを指導する最低限の知識を有している

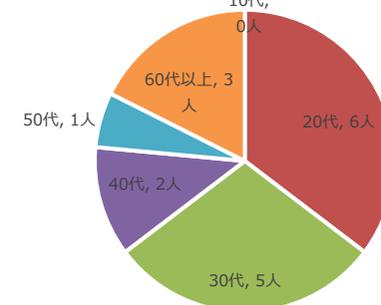
#### 取組の成果

- ・スポーツ協会の加盟団体の代表に、会員の人材バンク登録を依頼した結果 5名の登録があった
- ・退職教員に指導者の紹介を依頼した結果 3名の人材バンク登録があった
- ・教職員への説明会後には、教員職員からも人材バンクへの登録があった

人材バンク登録状況 競技別



人材バンク登録状況 年代別



## 2.実証内容と成果

ア：関係者との連絡調整・指導助言等の体制や運営団体・実施主体の整備  
イ：指導者の質の保障・量の確保  
ウ：関係団体・分野との連携強化  
エ：面的・広域的な取組

オ：内容の充実  
カ：参加費用負担の支援等  
**キ：学校施設の活用等**  
ク：その他の取組



### 取組内容

#### ●取組項目名 キ：学校施設の活用等

##### 取組事項

地域移行後の地域クラブの活動は、学校部活動が行われている学校施設を使用する想定をしており、今の学校施設の設備や備品などで地域クラブ活動ができるかの確認を行った。

また、生徒が普段活動している学校以外で活動することによる課題等がないかの検証を行った。

##### 取組の成果

一部の参加生徒は、普段の学校部活動と違う場所での活動となったが、普段の休日部活動についても保護者が送迎していることから特に問題が無いことがわかった。

グラウンドや体育館の使用については、普段の部活動においても施設の使用時間帯や日時を、顧問同士が協議していることから、今後も同様に学校や指導者同士が協議することで活用ができることが確認できた。

地域クラブが学校の体育館やグラウンドを使用することによるセキュリティの問題については、校舎内と施設が切り離されていることから、地域クラブ活動として使用許可に問題ないことが確認できた。(運動部のみ)

【例】原則、毎週土曜日の午前・午後を隔週交代で体育館を使用しているが、バレーボールが第2土曜日に練習試合で一日体育館を使用するため、顧問同士の協議により卓球は翌日の日曜日に振替で練習を行う

△月	時間	〇〇中学校体育館	
第1土曜日	A M	卓球	練習
	P M	バレーボール	練習
第2土曜日	A M	バレーボール	練習試合
	P M	バレーボール	
第2日曜日	A M		
	P M	卓球	練習
第3土曜日	A M	卓球	練習
	P M		
第4土曜日	A M	バレーボール	練習
	P M	卓球	練習

##### 今後の課題と対応方針

今後、校舎の教室を使用する文化部の活動が出てきた場合のセキュリティ対策が課題となってくる。その場合については、校舎内の重要な箇所への立入りを制限できるよう校舎の改修や、セキュリティエリアの変更などで対

応する必要がある。

また、学校備品の使用については、使用に関するルール作りや、備品の更新について担当課との協議を行う。

### 総括・成果の評価・今後に向けて

#### ●総括

令和8年度から、休日の中学校部活動を地域クラブ活動へ移行することを目指し、諸条件を整えるための組織や、関係文書、要綱や規約の施行に向け取組を進めてきた。この中で、中学校部活動の改革に対する説明や方針、ガイドライン、各種要綱等を市のホームページに掲載するとともに、啓発チラシを作成し、人が集まる公共施設等に掲示するなど広く市民に周知することに努めた。

地域移行に伴う情報の提供や学校現場の状況を把握するため、コーディネーターが随時学校に足を運び、学校長との連絡調整に努めた。しかし、様々な考えをもつ教員組織の中で、学校総体として同一方向を目指すことの難しさを痛感している。

生徒や保護者、教員に対して啓発を進める中では、複数ある中学校に対してその説明の機会や時間設定が難しく、一斉に伝えることができなかったため、学校間での認識のずれが生じたことが反省として上げられる。

#### ●成果の評価

地域移行を進めるうえで、協議会をいち早く立ち上げることができたことで、中学校部活動の現状や状況を共有することができ、地域移行に関する方向性を示すことができたことは有効であったと捉えている。

指導者を確保するため、人材バンクを設置し登録者を募ったが、十分な成果は得られなかった。スポーツの愛好家はいるが、指導までには至らないと考えてる人が多くいるということがこの取組をとおして認識することができた。

実証事業に関しては、指導者の確保と学校、部活動顧問との調整に難航し、当初計画していたよりも短期間となったが、参加した生徒や指導者からは「参加してよかった」や「実施してよかった」との肯定的な意見を聞くことができたことは成果があったと捉えている。

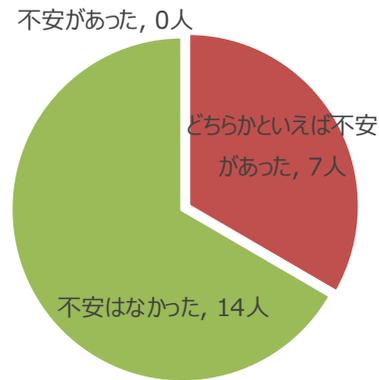
#### ●今後に向けて

山間部を抱える当市では、活動場所への移動に関して、公共交通機関を利用する手立てがなく、自己責任において校区外への自転車等での移動や保護者に送迎を願うなど、移動手段も大きな課題を抱えている。また、地域移行に伴う受益者負担の発生に対して、保護者の理解を得られるよう丁寧な説明が求められ、誰もが参加しやすい会費等の設定を今後の検討課題としている。

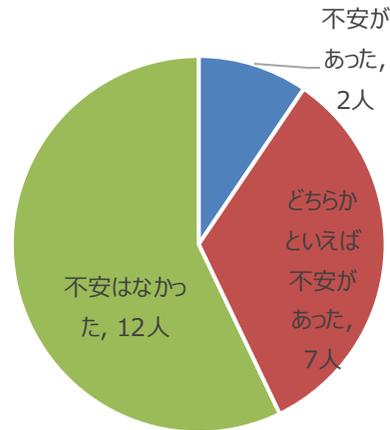
## アンケート結果・参加者の声

### ●アンケート結果

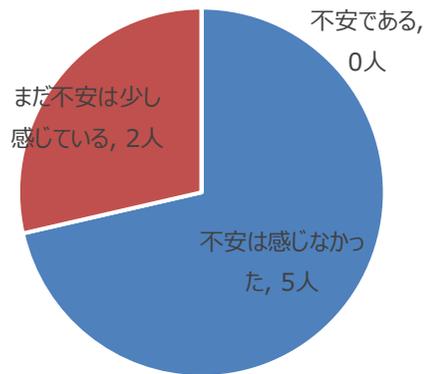
Q. 学校の先生（顧問教師）以外の方が指導することに対して不安はありましたか？（生徒）



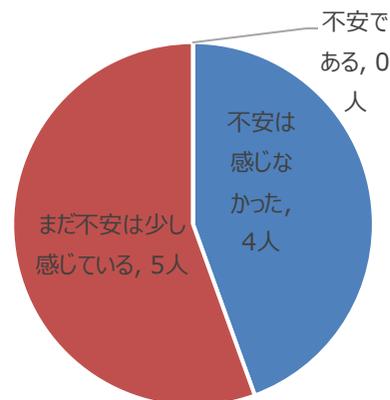
Q. 学校の先生（顧問教師）以外の方が指導することに対して不安はありましたか？（保護者）



Q. 上記で少し不安や不安と回答した人は、活動に参加してみて不安はどうでしたか？（生徒）



Q. 上記で少し不安や不安と回答した人は、活動に参加させてみて不安はどうでしたか？（保護者）



### ●参加者の声

#### 保護者

- ・何かトラブルがあった場合はどの機関が入ってくれるのか。
- ・細かなところが分からないまま進めていかれても親としては困る。
- ・平日のみと休日のみの参加生徒がいたとき、どのようにして休日の試合に参加させるのか。
- ・チームワークはどのようにするのか。
- ・良い面もたくさんあると思います。子どもたちの視野が広がり、甘えも減ると思います。平日と休日お活動内容が部活動における目標や課題とが合うためには先生方と指導員の方との間でコミュニケーションがとられることが大切だと思います。

#### 指導者（兼職・兼業の教員）

- ・教員の負担軽減につながることは嬉しいことではあるが、生徒指導上のトラブルが発生した時の対応や事後指導に不安がある。
- ・システムがまだ確立できていない部分が多いので、逆に負担になっている教師がいる。

#### 指導者（一般指導者）

- ・月1回程度の指導なら可能ですが数回となると難しい。
- ・負担金の管理方法。送迎も含め保護者の協力体制。
- ・活動場所や道具、その他諸費用を学校や教育委員会や保護者に協力してもらうことができれば地域移行も可能と思う。

## 2.実証内容と成果③

### アンケート結果・広報資料

チラシの配布やホームページで周知を行ったことによって、令和8年度から奈良県においては、教員の指導による休日の学校部活動が廃止され、地域クラブ活動となることについては、アンケートの結果でもあるように概ね認知されている。

また、今回の実証事業後のアンケートにおいて、生徒・保護者とも地域クラブ活動に移行されることについては、受益者負担についての不安があるが、概ね肯定的な回答が多かった。

**市民の皆様へ** **五條市地域クラブ活動についてのお知らせ**

**【中学校の部活動について】**

- 〇 **国は**、教育の機会均等を踏まえ、令和8年度から段階的に休日の部活動を地域クラブ活動に移行し、令和8年度から地域クラブ活動とする方針を示しました。
- 〇 **奈良県は**、「令和8年度から休日に於ける教員の指導による学校部活動を廃止する」方向性を示しました。

学校部活動は平日のみ、休日は地域クラブ活動

月 火 水 木 金 土 日

学校部活動

➔

月 火 水 木 金 土 日

学校部活動 地域クラブ活動

↑上記を受け、  
**五條市では、令和6年度から段階的に、市内公立中学校の休日の部活動を、地域クラブ活動に移行する取組を進めています。**

**専門的指導！ 選択幅の拡大！ 他校の生徒との交流！**

- 生徒が専門的指導を受けられる機会の提供を目指し、「五條市地域クラブ活動指導員人材バンク」を構築します。
- 現在休日に活動している部活動のうち、指導員などの準備が整った部活動から地域クラブ活動に移行していきます。
- 平日に部活動をしているか否かにかかわらず、休日の地域クラブ活動に参加することができます。
- 他校の生徒とも一緒に活動することになります。

〇 彼は部活向上を目指せ！(Aさん)  
〇 俺は土日休むぞ！(Bさん)  
〇 僕は部活中に寝た！(Cさん)

令和5年度に設置した「五條市活動地域移行推進協議委員会」での検討結果を踏まえ、今後別項記載の「五條市活動地域移行推進協議会」（令和6年6月設置。市PTA連合会、市立中学校長、各顧問団体、学校関係者、市教育委員会事務局職員等構成。11月に開催を予定しています。）  
お問合せは、五條市教育委員会事務局 生涯学習課 電話 22-40011（内線5210）まで

### 【市民向け啓発チラシ】

出典:五條市部活動地域移行推進委員会

#### 【結果】

質問1 休日の学校での部活動は、令和8年度から、今回実施しような地域クラブ活動に移行していくことを知っていましたか。

項目	野球	卓球
知っていた	7名 77.8%	9名 75.0%
知らなかった	1名 11.1%	1名 8.3%
聞いたことはあるがよく分からない	1名 11.1%	2名 16.7%

質問2 今回の活動は、楽しかったですか。

項目	野球	卓球
楽しかった	7名 77.8%	12名 100%
楽しくなかった	0	0
どちらでもない	1名 11.1%	0

質問3 今回の休日の地域クラブ活動に満足していますか。

項目	野球	卓球
満足	6名 66.7%	9名 75.0%
やや満足	1名 11.1%	2名 16.7%
やや不満	1名 11.1%	0
不満	1名 11.1%	0
どちらでもない	0	1名 8.3%

質問4 学校の先生（顧問教師）以外の方が指導することに対して不安はありませんでしたか。

項目	野球	卓球
不安があった	0	0
どちらかといえば不安があった	4名 44.4%	3名 25.0%
不安はなかった	5名 55.6%	9名 75.0%

質問5 上記4で(1)や(2)と回答して人は、活動に参加してみて不安はありましたか。

項目	野球	卓球
不安は感じなかった	3名 75.0%	2名 66.7%
まだ不安は少し感じている	1名 25.0%	1名 33.3%
不安である	0	0

質問6 今後も、地域クラブ活動に参加していこうと思いますか。

項目	野球	卓球
参加したい	4名 44.4%	10名 83.3%
どちらかといえば参加したい	4名 44.4%	2名 16.7%
あまり思わない	0	0
参加したくない	1名 11.1%	0

質問7 地域クラブ活動に参加して感じたこと（思ったこと）は何ですか。（複数回答可）

項目	野球	卓球
専門性の高い指導が受けられた	1名 11.1%	8名 66.7%
自分自身の技術が向上した	7名 77.8%	10名 83.3%
学校の先生がいたので安心した	5名 55.6%	6名 50.0%
学校よりも自由に活動ができた	2名 22.2%	2名 16.7%
指導者が多くいたので細かく指導が受けられた	4名 44.4%	4名 33.3%
その他	1名 11.1%	1名 8.3%

参加生徒のアンケートとりまとめ（抜粋）

### 【実証事業参加後アンケート結果（参加生徒）】

出典:五條市部活動地域移行推進委員会

### 参考資料（活動写真）



【地域指導者の指導による準備体操】



【パソコンを活用した動作確認】

## 2.実証内容と成果

### 地域スポーツクラブ活動の実施に至るまでの合意形成プロセス

令和6年

協議会設置、検討開始、  
人材バンクの設置

学校現場との調整

生徒、保護者への説明

令和7年1月～3月

地域クラブ活動実証事業の  
開始

令和6年5月～

#### 委員構成

校園長会、中学校校長、PTA連合会、  
スポーツ協会、学識経験者、教育委員会事  
務局

#### 経過

準備委員会で、関係者と地域移行に向け  
て方向性等の確認と、意見交換を行い、運  
営主体である推進協議会を設置し、今後  
の部活動地域移行の検討を開始

#### 成果

- ・移行に関する基本方針、地域クラブ活  
動のガイドラインの制定
- ・人材バンク設置
- ・各分野間の意見交換

令和6年8月～11月

●各学校の部活動状況の調  
査を行い、活動者数、顧問の  
人数等を把握

●スポーツ協会等へ中学生の  
指導可能者の照会等を行い  
人材バンクへの登録を依頼

●一定数の指導者がいる競  
技について、学校長、部活担  
当顧問を交え地域移行に向  
けての調整を行った

令和6年8月～11月

●小学校4年生から6年生  
及び、全中学校の生徒・保護  
者へは、令和8年度から休日  
の学校部活動が地域クラブ活  
動へ代わることについては、チ  
ラシを学校から配布してもらうこ  
とで周知を行った

また、特に今年度の実証事業  
に対象となった部活動の参加  
生徒・保護者に対して事業の  
詳細を文書で送付することで  
説明周知を行い、実証に向け  
ての合意を取ることにした

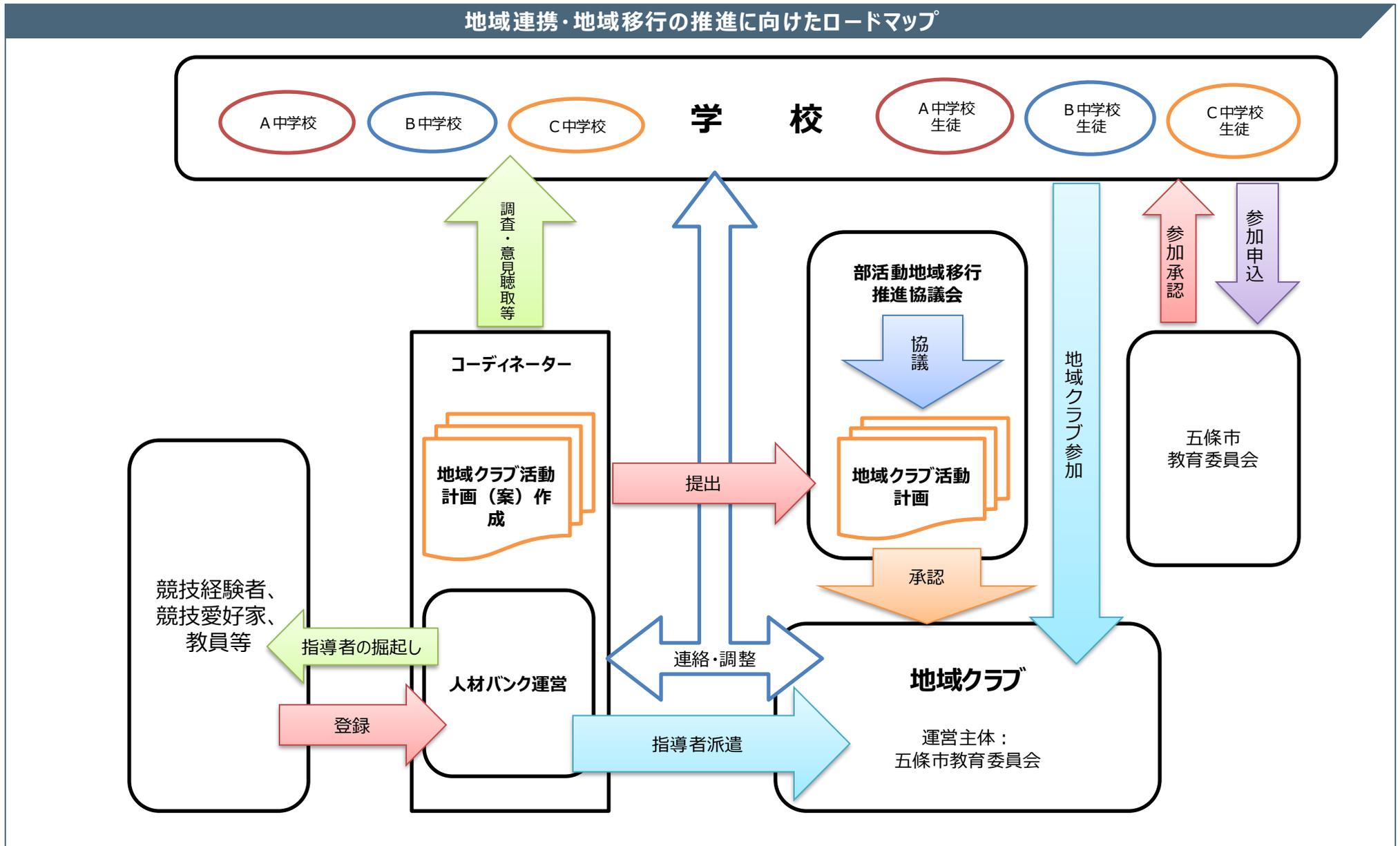
※特に保護者の方からは、質  
問や意見・苦情などはなかった

令和7年1月～3月

学校（学校長・顧問）、生徒・  
保護者、指導者それぞれの合意  
のもと、令和8年度からの実施  
体制となる地域クラブ活動の形を  
実証事業として行った

令和7年2月時点で、大会への  
参加方法や、チーム編成について、  
県中体連等の大会主催者と調  
整必要な課題が見えてきた

# 3. 今後の方向性



令和6年度

# 地域スポーツクラブ活動体制整備事業

地域スポーツクラブ活動への移行に向けた実証事業

## 奈良県 御所市

自治体名：奈良県御所市

担当課名：生涯学習課

電話番号：0745-44-3598

# 1.自治体の基本情報

## 基本情報

面積	60.58 km <sup>2</sup>
人口	23,789 人
公立中学校数	4 校
公立中学校生徒数	395 人
部活動数	19 部活
市区町村の協議会・検討会議等の設置状況	設置済
市区町村の推進計画・ガイドライン等の策定状況	未策定

## 地域連携・地域移行における市区町村の現状・課題

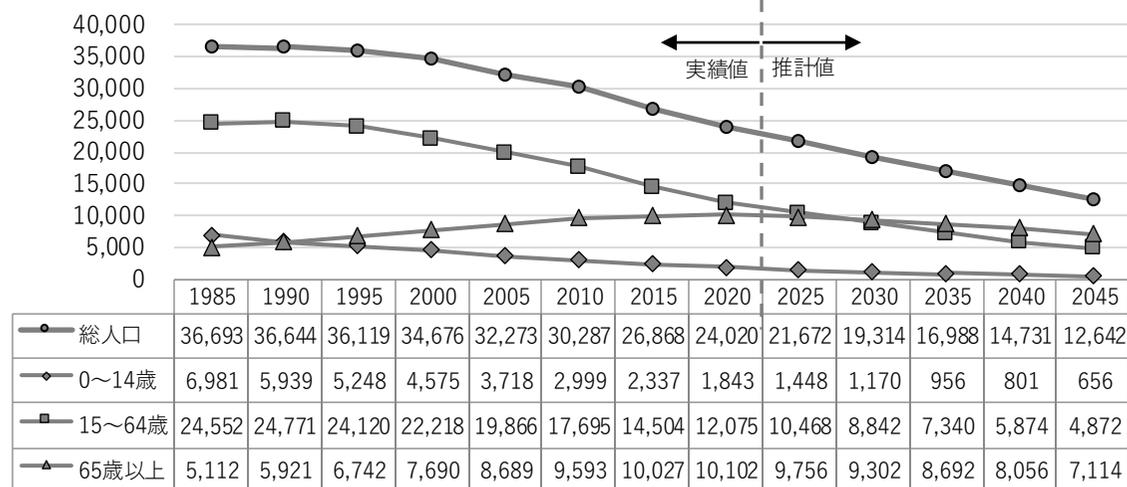
御所市では、少子化により生徒数が急激に減少しており、学校運営にも影響が出ている。義務教育の観点から、子ども達への教育の質を向上させることが重要であり、学校規模適正化審議会答申に基づき、御所市立学校の適正規模及び適正配置について取り組んでいる状況である。

クラブ活動においても、学校単位での活動を維持、運営することが困難になっており、一部の活動では「拠点校方式」を導入しています。

令和6年4月に「御所市地域クラブ活動推進協議会」を設置し、令和8年度までに休日における部活動の地域移行を目指している。

しかしながら、指導者の確保、活動場所までの交通手段の確保等多くの課題を抱えている。

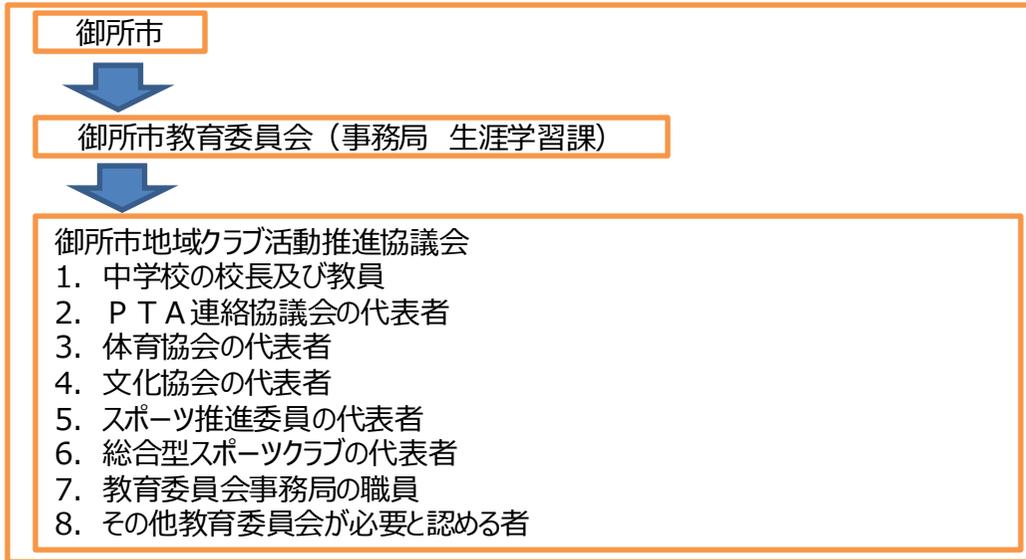
(1985年～2020年は国調人口、2025年～2045年は推計人口) <令和5年推計>



出典：総務省統計局『令和2年 国勢調査』（実績値）及び国立社会保障・人口問題研究所『日本の地域別将来推計人口（平成30年推計）（令和3年推計）（令和5年推計）』（推計値）を基に作成

## 運営体制・役割

### ●運営体制図（市区町村における推進体制図）



### ●行政組織内での役割分担

#### ◎教育委員会

- ・指導者と学校のマッチング
- ・推進協議会の開催
- ・指導者研修会の開催
- ・事務処理等

## 年間の事業スケジュール

令和6年4月	第1回御所市地域クラブ活動推進協議会
令和6年7月	御所市地域クラブ活動推進協議会専門部会
令和6年9月	教職員向けアンケート
令和6年10月	実証事業開始
令和6年12月	実証事業終了
令和7年1月	実証事業参加者向けアンケート

## 2.実証内容と成果

### 地域スポーツクラブ活動の運営実績

#### ①全体に関すること

中学校数	4校	実施した地域クラブ総数	1クラブ
ケース別クラブ数	A：部活動を地域移行した形のクラブ数（及び移行された部活動数）		1クラブ（ソフトテニス 部活）
	B：部活動を移行する形態ではない地域クラブ（新たな種目のクラブを新規に創設するケース等）		0クラブ
全体の指導者数	3人	全体の運営スタッフ数	3人

#### ②各クラブに関すること

クラブ名	運営団体種別	種目	実施回数	実施時間帯	参加者 (学年別)	実施期間	活動場所	指導者数	運営スタッフ数 (他クラブと兼務)	会費	大会参加方法
ソフトテニス クラブ	体育協会 加盟団体	ソフトテニス	計8回	9時 ～ 12時	中学1年生 中学2年生	10月 ～ 12月	健民運動場 テニスコート	3人	3人	0円	当クラブとして 参加していないが、学校から 中体連の大会 に参加

#### ③その他、体験会やイベント等の開催実績

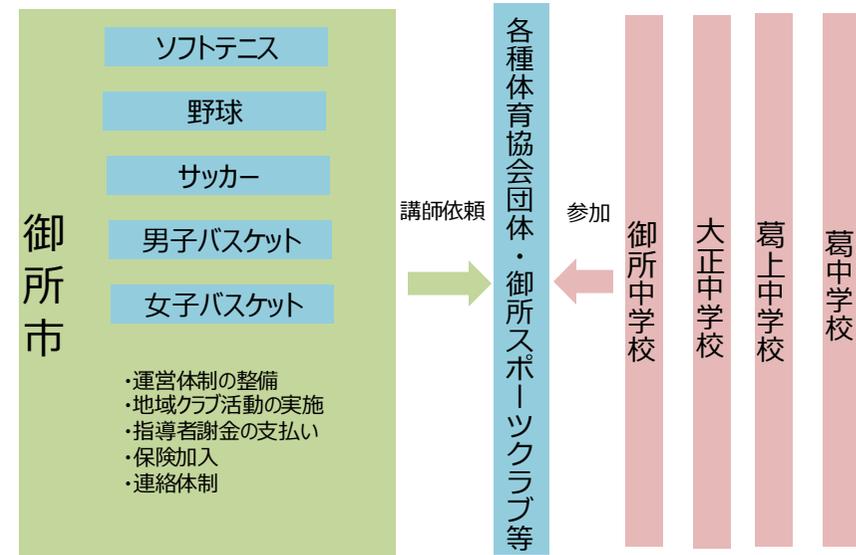
当クラブとしては参加していないが、学校から中体連の大会に参加。

## 主な取組例

### ●ソフトテニスクラブ 活動概要

地域クラブ活動で実施した種目	ソフトテニス
運営団体名	御所ソフトテニスクラブ
期間と日数	10月～12月 土曜日 計8回
指導者の主な属性	御所市体育協会会員
活動場所	健民運動場 テニスコート
主な移動手段	各自
1人あたりの参加会費等(年額)	0円
1人あたりの保険料	スポーツ安全保険 生徒1人あたり：800円/年

### ●運営体制図（地域クラブ活動を実施する際の運営体制図）



### ●指導者や運営スタッフなどの役割分担等

- 統括責任者 1名  
役割：活動における管理者として、指導及び市との調整や生徒との連絡を行う
- 指導者 2名  
役割：生徒への指導を行う

## 2.実証内容と成果

**ア：関係者との連絡調整・指導助言等の体制や運営団体・実施主体の整備**

イ：指導者の質の保障・量の確保

ウ：関係団体・分野との連携強化

エ：面的・広域的な取組

オ：内容の充実

カ：参加費用負担の支援等

キ：学校施設の活用等

ク：その他の取組



### 取組内容

#### ●取組項目名 ア：関係者との連絡調整・指導助言等の体制や運営団体・実施主体の整備

##### 取組事項

指導者や設備、生徒数の問題により、学校単位では部活動の種目が制限されている。

指導者と場所と生徒をマッチングし、広域的な取り組みをすることで地域単位での多様なスポーツクラブ活動の実現に取り組む。

##### 取組の成果

参加した中学生4人を対象としたアンケートの結果、4人の内3人が参加して良かったと回答をしていた。参加者の過半数が良かったと回答しており、事業を実施することに一定意味があると考えられる。「優しく指導してほしい」や「レクリエーションもしてほしい」という意見が得られ、現状の生徒が求める活動内容へのニーズも把握できた。

平日に部活動を指導している顧問にも参加してもらったが、競技歴や指導歴のない種目の部活動を担当していたため、今回の実証事業で専門的な指導者に従事し、技術の向上及び指導法の習得等、副産物的な成果も得ることが出来た。

##### コーディネーターの具体的な動きの実績

コーディネーターは未配置

##### 今後の課題と対応方針

市内の全4中学校に募集の案内を行ったが、既存の部活動を有する1中学校からの参加にとどまった。活動場所による交通手段等の問題や多くの学校や生徒に参加してもらえるような工夫が必要である。

## 2.実証内容と成果

ア：関係者との連絡調整・指導助言等の体制や運営団体・実施主体の整備

イ：指導者の質の保障・量の確保

**ウ：関係団体・分野との連携強化**

エ：面的・広域的な取組

オ：内容の充実

カ：参加費用負担の支援等

キ：学校施設の活用等

ク：その他の取組



### 取組内容

#### ●取組項目名 ウ：関係団体・分野との連携強化

##### 取組事項

令和6年4月に御所市地域クラブ活動推進協議会を設置。

同協議会は、体育協会、スポーツ推進委員及び総合型スポーツクラブの代表者と中学校、PTAの代表者で構成され、学校部活動の地域クラブ活動への移行に向けて検討し、相互に連携を図っている。

##### 取組の成果

協議会の構成員として、各中学校の代表者を任命することにより、市内中学校すべての生徒に事前周知や募集チラシの配布を行うことができた。現在の中学生や将来対象となる小学生については、地域クラブ活動についてのアンケートによるニーズ把握等を行うにあたって、学校と連携することにより、アンケート回収率を上げ、なるべく多くの対象者のニーズを把握できるよう取り計らい、結果多数の回答を得られた。

また、指導者の確保においては、体育協会加盟団体の協力を得ることができ、各部活動について候補者の目星をつけることができた。

##### バス等の運行実績

なし

##### バス等の運航経費・収入

なし

##### 今後の課題と対応方針

体育協会加盟団体、スポーツ推進委員及び総合型スポーツクラブ指導者の高齢化が進んでおり、新たな指導者を確保するために、民間事業者等との連携を図り、若手人材の発掘を促進する。ただし、指導に見合う報酬金額等の設定が必要。

## 2.実証内容と成果

ア：関係者との連絡調整・指導助言等の体制や運営団体・実施主体の整備  
イ：指導者の質の保障・量の確保  
ウ：関係団体・分野との連携強化  
**エ：面的・広域的な取組**

オ：内容の充実  
カ：参加費用負担の支援等  
キ：学校施設の活用等  
ク：その他の取組



### 取組内容

#### ●取組項目名 エ：面的・広域的な取組

##### 取組事項

御所市では、少子化の影響により、クラブ活動が学校単位で維持、運営することが困難になっており、一部の活動において「拠点校方式」を導入している。

今後はクラブ活動の維持、運営を継続するために、校区を限定せずに、地域クラブ活動への移行を図る。

##### 各自治体の役割

御所市教育委員会

- ・指導者と学校のマッチング
- ・推進協議会の開催
- ・指導者研修会の開催
- ・事務処理等

##### 事務局運営の方法

御所市教育委員会生涯学習課に事務局を設置

##### 取組の成果

地域クラブ活動に参加した生徒は、4名であったが、学校よりも充実した施設で、専門の指導者から指導を受けることができた。

##### 今後の課題と対応方針

移行の取り組むクラブ活動を増やし、令和8年度までに、休日のすべての運動部活動を地域クラブ活動へ移行する。

交通手段の確保と平日の部活動との連携が課題。

## 2.実証内容と成果

ア：関係者との連絡調整・指導助言等の体制や運営団体・実施主体の整備  
 イ：指導者の質の保障・量の確保  
 ウ：関係団体・分野との連携強化  
 エ：面的・広域的な取組

**オ：内容の充実**  
 カ：参加費用負担の支援等  
 キ：学校施設の活用等  
 ク：その他の取組



### 取組内容

#### ●取組項目名 オ：内容の充実①

##### 取組事項

学校部活動よりも充実した施設で、専門の指導者から技術的な指導を受けることができるよう活動を行った。

活動の詳細			
参加人数	4人	指導者数	3人
属性	民間のスポーツクラブ		
具体的な内容	健民運動場のテニスコートで体育協会加盟団体であるソフトテニスクラブの指導者から技術的な指導を受ける		
子供の声	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 開始時期、練習日程、練習場所については、概ね現状のままでいと回答。</li> <li>● 4人の内、1人が保険料相当（800円）の負担なら問題ないと回答。他は無料が望ましい。</li> <li>● 「もっと優しく指導して欲しい」「レクリエーションもして欲しい」と意見があった。</li> <li>● 4人の内、3人が参加して良かったと回答。1人がもう参加したくないと回答。</li> </ul>		
関係者の声	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 平日の部活動を担当している教師にも参加してもらったことから、教師自身が競技歴や指導歴のない部活動を受け持っていたため、今回の活動で専門的な指導法や技術を学べて参考になったという声を聞いた。</li> <li>● 指導者からは、毎週、定期的に時間を拘束されるため、報酬の割に負担が大きいという声を聞いた。</li> <li>● 子ども達の健全な育成のためにも、教師が適正な賃金をもらった上で、学校で指導を受けたほうが良いという声も聞いた。</li> <li>● 子ども達を送迎する親の負担も増えたと聞いた。</li> </ul>		
運営経費	講師謝礼 消耗品 保険料		

## 2.実証内容と成果

ア：関係者との連絡調整・指導助言等の体制や運営団体・実施主体の整備  
イ：指導者の質の保障・量の確保  
ウ：関係団体・分野との連携強化  
エ：面的・広域的な取組

### オ：内容の充実

カ：参加費用負担の支援等  
キ：学校施設の活用等  
ク：その他の取組



### 取組内容

#### ●取組項目名 オ：内容の充実②

##### 取組の成果

ソフトテニス専用のコートで、競技を専門的に活動している指導者のもと、技術的な指導を受けることができた。

平日の部活動を担当している顧問にも参加してもらったことから、顧問自身が競技歴や指導歴のない部活動を受け持っていたため、今回の活動で専門的な指導法や技術を学べて参考になったという成果もあった。



##### 今後の課題と対応方針

子ども達の希望する部活動を提供するために、場所や指導者の確保が困難となっている。指導者の高齢化や報酬に対する時間的な拘束も負担との声もあり、若手の指導者の発掘や報酬金額の見直しも必要と思われる。

また、学校施設以外のより専門的な施設を確保することにより、交通手

段も課題となるが、現状では親の送迎に頼る等、主だった解決策は見い出せていない。

## 2.実証内容と成果

ア：関係者との連絡調整・指導助言等の体制や運営団体・実施主体の整備  
イ：指導者の質の保障・量の確保  
ウ：関係団体・分野との連携強化  
エ：面的・広域的な取組

オ：内容の充実  
**カ：参加費用負担の支援等**  
キ：学校施設の活用等  
ク：その他の取組



### 取組内容

#### ●取組項目名 カ：参加費用負担の支援等①

##### 取組事項

本年度の実証事業においては、自己負担金は求めずに行ったが、この実証事業等を踏まえ、適切な受益者負担額の設定や、公的資金のバランスについて検証を進めた。

##### 地域クラブに係る経費

##### ■イニシャルコストの分析

現状では費用無し

##### ■ランニングコストの分析

指導者謝金  
消耗品費  
保険料

##### 持続的な運営に必要な受益者負担額の試算

当市の規模を踏まえ5人～30人程度の部活動で、指導者は1、2名を想定して試算。

謝礼単価は時給1,600円とし、日に3時間を月4回、年48回の実施を想定し、上記のランニングコストを満たす持続的な運営に必要な金額を算出した。

当市が実施したアンケートでは保護者が妥当と考える負担額のボリューム層は0円～3,000円にある。

負担額を月1,000円とした場合、指導者1人で24人以上の生徒が在籍する必要がある。

負担額を月2,000円とした場合、指導者1人で11人以上の生徒が在籍、指導者2人で22人以上の生徒が在籍する必要がある。

負担額を月3,000円とした場合、指導者1人で7人以上の生徒が在籍、指導者2人で14人の生徒が在籍、指導者3人で21人の生徒が在籍する必要がある。

月3,000円を徴収すれば指導者1人あたりの指導負担も現実的で、収支バランスとしても持続的な運営が可能と考えられる。

## 2.実証内容と成果

ア：関係者との連絡調整・指導助言等の体制や運営団体・実施主体の整備  
イ：指導者の質の保障・量の確保  
ウ：関係団体・分野との連携強化  
エ：面的・広域的な取組

オ：内容の充実  
**カ：参加費用負担の支援等**  
キ：学校施設の活用等  
ク：その他の取組



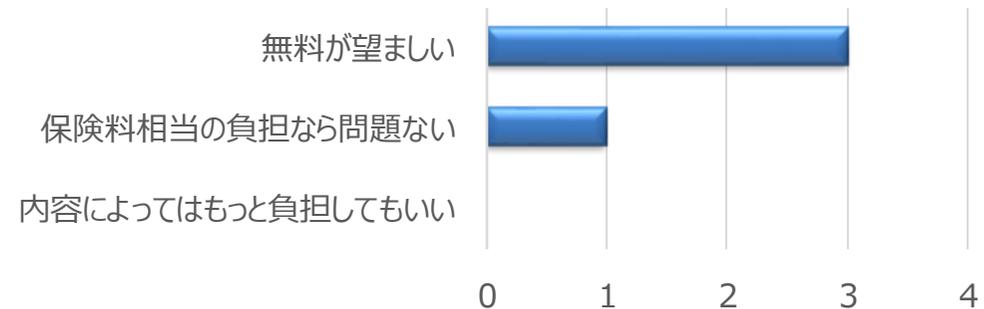
### 取組内容

#### ●取組項目名 カ：参加費用負担の支援等②

##### 取組の成果

本年度は、実証事業として最初の取組であり、無料で参加者を募った。  
アンケート結果から4人の内、3人が次年度以降も無料が望ましいと回答。  
1人が保険料相当の負担なら問題ないと回答。

#### ◎アンケート：費用負担について



##### 今後の課題と対応方針

受益者負担はある程度必要と考えているものの、参加者の声として無料を望むものが多く、現状の学校部活動との均衡を図るにあたって、過度な負担金を求めるのは妥当とは思えない。

指導者、施設をより充実させるには、より費用がかかることから、今後も適切な収支バランスを検討し、一定の受益者負担を検討していく必要がある。

# 2.実証内容と成果

ア：関係者との連絡調整・指導助言等の体制や運営団体・実施主体の整備  
 イ：指導者の質の保障・量の確保  
 ウ：関係団体・分野との連携強化  
 エ：面的・広域的な取組

オ：内容の充実  
**カ：参加費用負担の支援等**  
 キ：学校施設の活用等  
 ク：その他の取組



## 取組内容

### ●取組項目名 カ：参加費用負担の支援等③

#### 資料

スポーツ庁事業費確認シート（スポーツ庁・事務局確認用） P1

市区町村名 奈良県御所市

I. 収入

費目	種 別	決 算 額	別 合
収入	都道府県委託料	87,000	86.0%
	スポーツ庁費	87,000	86.0%
	都道府県単費	0	0.0%
	市区町村費	14,131	14.0%
	地域団体等自己負担	0	0.0%
	受益者負担	0	0.0%
その他収入	0	0.0%	
総計		101,131	

II. 支出

費目	種 別	決 算 額	別 合
支出	市区町村執行額 (再委託費を除く)	101,131	100.0%
	地域団体等執行額	0	0.0%
	総計	101,131	

支出種別（再々々委託先を含む） P2

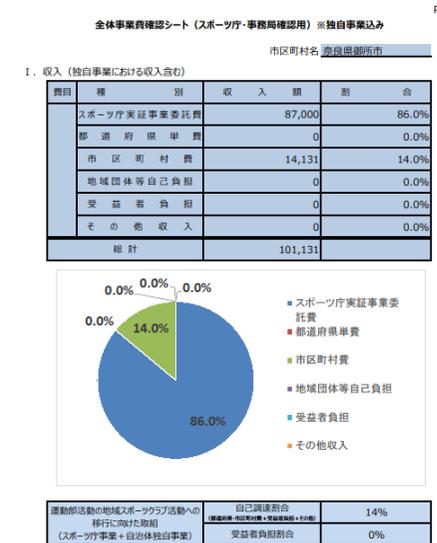
費目	種 別	決 算 額	別 合
支出	クラブ運営費	0	0.0%
	クラブ活動費	101,131	100.0%
	その他	0	0.0%
総計		101,131	

執行率

費 目	決 算 額	執 行 率
契 約 額	87,000	
精 算 額	87,000	100%

重点地域支出内訳（再々々委託先含む）

費 目	種 別	決 算 額	
支出	人 件 費 ・ 費 金	0	
	事業費	諸 謝 金	0
		旅 費 ・ 交 通 費	0
		備 料 及 び 備 品	0
		消 耗 品 費	0
		会 議 費	0
		印 刷 製 本 費	0
		通 信 運 送 費	0
		雑 役 務 費	0
		保 険 料	0
		消 費 税 相 当 額	0
		総 計	0



出典 スポーツ庁事業費確認シートより

## 2.実証内容と成果

ア：関係者との連絡調整・指導助言等の体制や運営団体・実施主体の整備  
イ：指導者の質の保障・量の確保  
ウ：関係団体・分野との連携強化  
エ：面的・広域的な取組

オ：内容の充実  
カ：参加費用負担の支援等  
**キ：学校施設の活用等**  
ク：その他の取組



### 取組内容

#### ●取組項目名 キ：学校施設の活用等

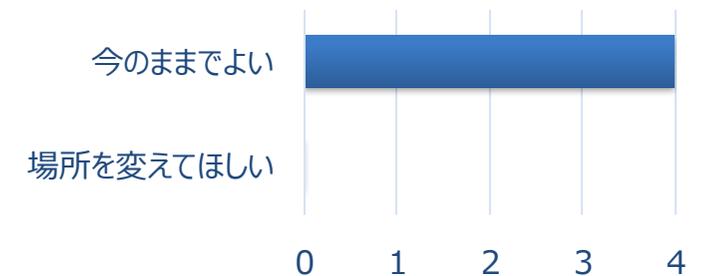
##### 取組事項

体育協会加盟団体であるソフトテニスクラブの協力を得て、市の施設である健民運動場テニスコートを利用し、無償で実証事業を行った。今後も受益者負担を軽減するために、できる限り学校施設等無償で利用できる施設を活用する。

##### 取組の成果

無償で健民運動場テニスコートを利用し、実証事業を行った結果、中学校のグラウンドより、現状の健民運動場テニスコートでの開催が良いと4人全員が回答。今回参加してくれた生徒所属学校のコートは運動場の一角にあり、フェンスでかこまれていない。県民運動場のコートはテニス専用で、フェンスに囲まれており、ボールが飛散しないことも一つの要因と思われる。

#### ◎練習場所について（健民グラウンド：櫛羅 で実施）



##### 今後の課題と対応方針

学校施設を利用することで、施設利用に関する受益者負担は減少するものの、当該学校以外の子ども達と、他校の子ども達との間で、移動についての負担に不公平感が出ると思われる。交通手段の確保を含め、一定の公平性が求められると思われる。

### 総括・成果の評価・今後に向けて

#### ●総括

御所市では、地域クラブ活動の最初の取組として、「地域スポーツクラブ活動への移行に向けた実証事業」をソフトテニスに絞って実施した。

市内すべての市立中学校 4校の1、2年生を対象とし、全員に案内を配布したが、参加希望があったのは、既存の学校部活動で活動している1校4名のみであった。

当初、最低活動人数を6名としていたが、体育協会加盟団体であるソフトテニスクラブの協力もあり、4名での活動で開始することとなった。

平日の学校部活動との連携の観点からも、当該学校の顧問2名にも参加してもらい、合計7回（雨天中止1回）の活動を実施することができた。

少人数の活動となったが、7回すべての活動に参加した生徒もあり、参加者の技術向上、意欲向上に寄与したと思われる。

送迎等の親の負担、高齢化等による指導者不足等、当初から想定していたものの、多岐に渡る課題がでたのも実証事業の産物であった。

#### ●成果の評価

満足のいく参加者数を集めることはできなかったが、すべての活動に参加した生徒の存在や、平日の学校部活動を指導する顧問と専門的に競技や指導を経験してきた地域クラブ活動の指導者と交流することで、専門外の部活動を指導していた顧問の技術や指導法が向上したことも、予期せぬ成果の1つであったと思われる。

#### ●今後に向けて

奈良県が目標とする、令和8年度までに、休日の中学校部活動のすべてを地域移行するには、地域スポーツクラブ活動の種目を早急に大幅に増やす必要がある。

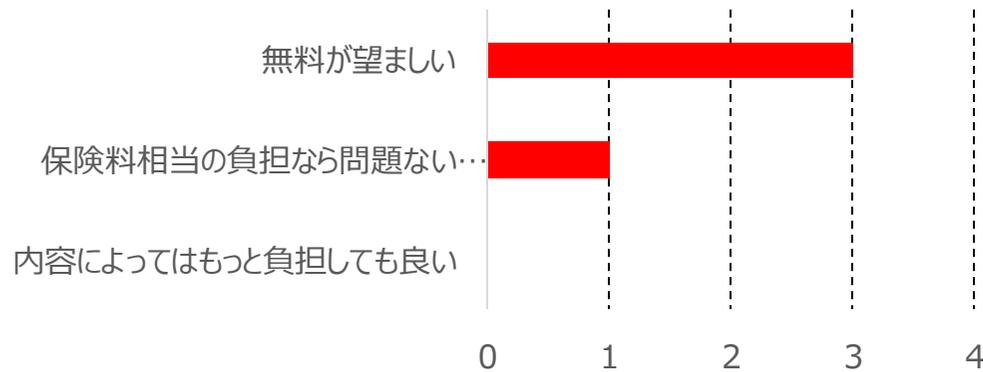
少子化の中でも、子ども達が生涯にわたってスポーツ活動に親しむ機会をもつことができるよう、学校と地域との連携を速やかに進め、持続可能な環境整備を行い、御所市地域クラブ活動推進協議会を中心に、部活動の地域移行に取り組む予定である。

## 2.実証内容と成果②

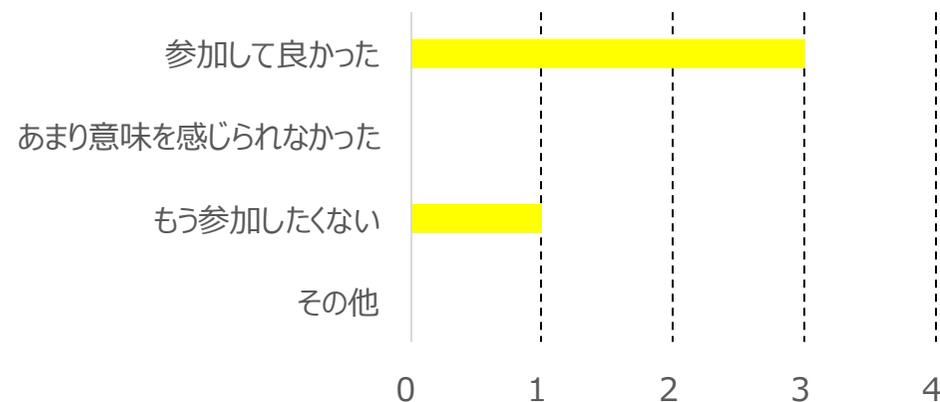
### アンケート結果・参加者の声

#### ●アンケート結果

Q.費用負担について（4人）



Q.参加した感想（4人）



#### ●参加者の声

##### 中学1・2年生

もっと優しく指導して欲しい。  
レクリエーションもして欲しい。

##### 中学1・2年生

開始時期、曜日、時間、場所については今のままでいい。

##### 指導者

毎週、定期的に時間が拘束されるため、報酬に比べて指導者の負担が大きい。

##### 指導者

クラブ活動は子ども達の健全な育成のために、学校で教師から指導を受けた方がいいと感じる。  
ただし、教師は適正な賃金をもらって行うのが妥当と考える。

## 2.実証内容と成果③

### アンケート結果・広報資料

市立4中学校の1年生と2年生を対象とした参加啓発チラシを対象生徒に全員に配布。終了後に地域スポーツクラブ活動へ参加してくれた生徒を対象にアンケートを実施。

**御所市ソフトテニス教室**

市立中学校から学校を問わず同年代の仲間とソフトテニスを通して、心身のリフレッシュをしましょう！初心者から経験者まで誰もが楽しくテニスをできます。是非ご参加ください。

◎主催 御所市教育委員会（地域スポーツクラブ活動への移行に向けた実証事業）

◎講師 御所ソフトテニスクラブ

◎日時 令和6年10月19日（土）・26日（土）  
（予定） 11月 2日（土）・9日（土）・16日（土）・30日（土）  
12月 7日（土）・14日（土）  
各日 9：00～12：00

◎会場 健民運動場テニスコート（御所市榑羅1964番地）

◎参加資格 御所市立中学校、1年生・2年生の方。  
※最低6人の参加申込者がいない場合は中止となる可能性があります。

◎申込期間 令和6年10月9日（水）まで

◎申込方法 担任の先生もしくは御所市教育委員会事務局生涯学習課まで

◎費用 無料（会場までの交通費は各自でご負担願います。）

◎その他  
・運動のできる服装で参加してください。  
・ラケットの貸出をご希望の方は参加申込書の有に○を付けてください。  
・教室中の事故については応急処置をとりますが、その他一切の責任は負えません。  
・水分補給を適宜行いますので、飲み物の持参をお願いします。

◎お問い合わせ 御所市教育委員会事務局生涯学習課 0745-44-3598  
（裏面も御覧下さい）

-----キリトリ-----  
申込日 令和6年 月 日

**御所市ソフトテニス教室参加申込書**

ふりがな氏名		男・女	平成 年 月 日 生 誕	才
住所	電話 ( )			
学校名	学 年	年 生		

保護者は必ず下の欄にご記入ください。 ラケット貸出希望 有 ・ 無

令和 年 月 日 保護者名

【生徒への参加啓発チラシ】

ソフトテニス教室 アンケート

お忙しいところお手数をお掛けしますが、アンケートにご協力お願いします。  
※封筒に封入して1月17日（金）までにご返信願います。

当てはまるものに○をご記入下さい。

1. 開始時期について（今年度は10月～12月）  
 もっと早くからが良い（ 月位～）  
 ちょうどいい  
 もっと遅くからが良い（ 月位～）

2. 練習の曜日について（今年度は毎週土曜日）  
 今のままでいい  
 日曜日の方がいい  
 平日の方がいい（ 曜日・ 曜日）

3. 練習時間について（今年度は9時00分～12時）  
 今のままでいい  
 もっと遅い方がいい（ 時～ 時）

4. 練習場所について（今年度は健民グラウンド・榑羅）  
 今のままでいい  
 場所を変えて欲しい  
 中学校グラウンド  市民運動公園（朝町）

5. 費用負担について  
 無料が望ましい  
 保険料相当の負担なら問題ない（年間約800円）  
 内容によってはもっと負担してもいい

6. 練習内容について ※当てはまるものすべてに○をご記入下さい。  
 もっと厳しく指導して欲しい  もっと優しく指導して欲しい  
 レクリエーションもして欲しい  もっと大会に参加したい  
 基礎体力をつけたい（筋トレ等）  専門的な指導を受けたい  
 その他（ご自由にご記入下さい）

7. ソフトテニス教室に参加した感想を教えてください。  
 参加して良かった  
 あまり意味を感じられなかった。  
 もう参加したくない  
 その他

ご意見等あればご自由にご記入下さい。

裏面

ご協力ありがとうございました。

【アンケート】

### 参考資料（活動写真）



【ラケットの握り方から指導】



【スイングの指導】



【ボレーの指導】



【ボレーの練習風景】

## 2.実証内容と成果

### 地域スポーツクラブ活動の実施に至るまでの合意形成プロセス



#### ●ステークホルダー

御所市教育委員会、市立中学校、御所市PTA連絡協議会、御所市体育協会、御所市文化協会、御所市スポーツ推進委員、NPO法人御所スポーツクラブ

#### ●経過

令和6年4月に「御所市地域クラブ活動推進協議会」を設置し、令和8年度までに休日における部活動の地域移行を目指している。地域クラブ活動の最初の取組として、「地域スポーツクラブ活動への移行に向けた実証事業」をソフトテニスに絞って実施した。

#### ●実施にあたって生じた課題

体育協会加盟団体等から高齢化や時間的な拘束に対する負担感が大きいとの声があり、指導者が集まらない。また、生徒も活動場所や活動時間によって交通手段の確保が必要であり、保護者の送迎等、負担感が大きく参加者が集まらない。

#### ●実施内容、工夫した点等

体育協会加盟団体であるソフトテニスクラブの協力を得て、合計8回の教室を開催予定として生徒を募集。基礎から教えるカリキュラムを組んでもらった。生徒だけでなく、平日に学校部活動を指導している顧問にも参加してもらい、連携をとりながら実証事業を実施。学校部活動を指導している顧問にとっても、技術的な向上と専門的な指導法を学ぶことができる機会となった。

# 3. 今後の方向性

## 地域連携・地域移行の推進に向けたロードマップ

令和6年  
4月

- 御所市地域クラブ活動推進協議会設立

令和6年  
10月～12月

- 地域スポーツクラブ活動実証事業（ソフトテニス教室）

令和7年度

- 地域スポーツクラブ活動実証事業（19クラブ活動）

令和8年度

- 休日のスポーツ部活動の地域移行開始

令和6年度

# 地域スポーツクラブ活動体制整備事業

地域スポーツクラブ活動への移行に向けた実証事業

## 奈良県 生駒市

自治体名： 奈良県生駒市  
担当課名： 教育委員会事務局 生涯学習部 スポーツ振興課  
電話番号： 0743-74-1111

# 1.自治体の基本情報

## 基本情報

面積	53.15 km <sup>2</sup>
人口	116,000人
公立中学校数	8校
公立中学校生徒数	2,970人
部活動数	69部活
市区町村の協議会・検討会議等の設置状況	生駒市新たな地域クラブ活動推進協議会設置済
市区町村の推進計画・ガイドライン等の策定状況	生駒市ガイドライン策定予定

## 地域連携・地域移行における市区町村の現状・課題

学校部活動にある種目の地域移行状況として、サッカーと水泳をそれぞれ1クラブが移行した。学校部活動にない種目、ラグビー・レスリング・4T（多世代・多種目・多志向・多様性）を設置し、地域移行の先行クラブとして開催している。

各クラブは、生駒市スポーツ協会、市スポーツ施設指定管理者、市内総合型地域スポーツクラブが受け皿団体として実施運営を行っている。

次年度は、学校部活動の現在の顧問の先生方に地域移行後のクラブでの指導についての意向等を伺い、さらに先行して移行するクラブを増やし、令和8年度にすべての部活動で休日の地

域移行を行う。これらのスケジュールや、市の方向性などについては、12月末に市の教育指導課より保護者や児童・生徒に向けて説明動画の配信を行った。

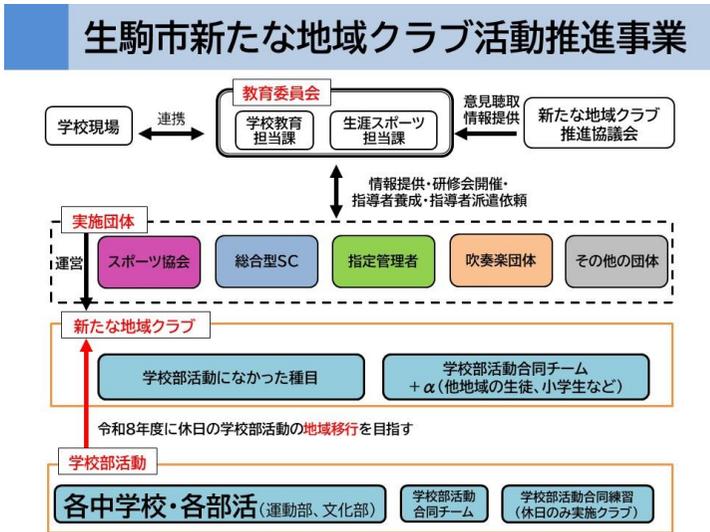
指導者の確保については、一昨年、市内全ての教員にアンケートを実施し、地域クラブでの指導を希望する教員は約3割にとどまる結果であった。地域住民の地域指導の登用を見据え、人材バンクの設置を予定している。



# 2.実証内容と成果

## 運営体制・役割

### ●運営体制図（市区町村における推進体制図）



### ●行政組織内での役割分担

#### ◎教育委員会 教育指導課

- ・教員、保護者、児童・生徒へ、地域移行についての説明窓口
- ・教員からの意見要望まとめ
- ・市内部活動専門部会との連絡調整、部活顧問招集会議での進行

#### ◎教育委員会 スポーツ振興課

- ・新たな地域クラブ推進協議会の会議の開催
- ・地域クラブ実施団体（受け皿団体）との連絡調整
- ・地域クラブ指導者人材バンクの設置

## 年間の事業スケジュール

令和6年4月	3つの実施主体との契約 4つの地域クラブが活動
令和6年5月	新たに1つの実施主体と契約 光明中サッカー部が地域移行へ着手
令和6年8月	1つの地域クラブが活動開始
令和6年9月	光明中サッカー部が休日の地域クラブとして開始
令和6年10月	市内教員向けに、移行についての説明動画配信
令和6年11月	新たな地域クラブ推進協議会議開催
令和6年12月	保護者向けに今後の地域展開についての説明動画配信
令和7年1月	市内吹奏楽部顧問と調整会議
令和7年2月	市内野球部顧問と調整会議

## 2.実証内容と成果

### 地域スポーツクラブ活動の運営実績

#### ①全体に関すること

中学校数	8校	実施した地域クラブ総数	6クラブ
ケース別クラブ数	A：部活動を地域移行した形のクラブ数（及び移行された部活動数）		2クラブ（サッカー・水泳部活）
	B：部活動を移行する形態ではない地域クラブ（新たな種目のクラブを新規に創設するケース等）		2クラブ
全体の指導者数	18人	全体の運営スタッフ数	12人

#### ②各クラブに関すること

クラブ名	運営団体種別	種目	実施回数	実施時間帯	参加者 (学年別)	実施期間	活動場所	指導者数	運営スタッフ数 (他クラブと兼務)	会費	大会参加方法
ラグビークラブ	スポーツ協会	ラグビー※	月2回	9:00～12:00	中学1～3年生	4月～3月	市内体育施設	3人	3人	月会費 1,000円	一部地域クラブとして出場
レスリングクラブ	スポーツ協会	レスリング※	月2回	9:00～10:30	年中～中学生	4月～3月	生駒北スポーツセンター	2人	2人	月会費 1,000円	地域クラブとして出場
サッカークラブ	総合型地域スポーツクラブ	サッカー	月6回程度	9:00～12:00	中学1～3年生	4月～3月	光明中学校	4人	2人	月会費 2,000円	中体連：地域クラブ

## 2.実証内容と成果

### 地域スポーツクラブ活動の運営実績

クラブ名	運営団体種別	種目	実施回数	実施時間帯	参加者(学年別)	実施期間	活動場所	指導者数	運営スタッフ数(他クラブと兼務)	会費	大会参加方法
水泳クラブ	TACきらめき	水泳	月2回	10:00～11:30	中学1～3年生	4月～3月	TACきらめき屋内温水プール	2人	2人	月会費1,000円	出場なし
4Tクラブ	総合型地域スポーツクラブ	多種目※	月2回	9:00～10:30	年中～中学生	4月～3月	市内中学校施設	2人	2人	月会費1,000円	出場なし
4T部活動	総合型地域スポーツクラブ	多種目※	月6回程度	9:00～12:00	中学1～3年生	4月～3月	市内中学校施設	4人	2人	月会費1,000円	出場なし

### ③その他、体験会やイベント等の開催実績

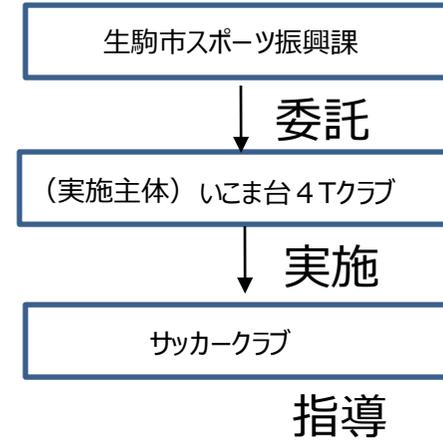
- 年度末の3月に各クラブが体験会を実施（他、発足前にそれぞれ体験会実施）

## 主な取組例

### ● サッカークラブ 活動概要

地域クラブ活動で実施した種目	サッカー
運営団体名	いこま台4Tクラブ総合型地域スポーツクラブ設立準備委員会
期間と日数	サッカー：9月1日～2月末日 月6回程度
指導者の主な属性	地域指導者（光明中学校サッカー部顧問・地域住民）
活動場所	光明中学校グラウンド
主な移動手段	徒歩・保護者送迎
1人あたりの参加会費等（年額）	サッカー：12,000円
1人あたりの保険料	スポーツ安全保険 生徒1人あたり：1,000円/年 指導者1人あたり：1,850円/年

### ● 運営体制図（地域クラブ活動を実施する際の運営体制図）



### ● 指導者や運営スタッフなどの役割分担等

- いこま台4Tクラブ サッカークラブの運営  
施設の確保・指導者の確保・従事時間の管理及び支払い
- 主任指導者 3名  
役割：サッカーの指導・引率・大会運営を行う
- 運営補助者 2名  
役割：サッカーの指導補助・引率・大会運営を行う

# 2.実証内容と成果

## ア：関係者との連絡調整・指導助言等の体制や運営団体・実施主体の整備

- イ：指導者の質の保障・量の確保
- ウ：関係団体・分野との連携強化
- エ：面的・広域的な取組

- オ：内容の充実
- カ：参加費用負担の支援等
- キ：学校施設の活用等
- ク：その他の取組



### 取組内容

#### ●取組項目名 ア：関係者との連絡調整・指導助言等の体制や運営団体・実施主体の整備

##### 取組事項

教育指導課とスポーツ振興課が連携し、中学校部活動に携わる各種目の顧問を招集し、市内で必要地域クラブ数の検討と地域指導者への希望等を意見聴取し、地域指導者を担ってくれる教員を含み地域クラブの立ち上げの検討を行った。その後、地域クラブの実施団体（受け皿団体）を、市スポーツ協会・市スポーツ施設指定管理者、市内総合型地域スポーツクラブ等と連携させ、活動開始後は運営の支援や助言等を行った。

##### 取組の成果

教育指導課から、教員への地域移行の説明動画を配信し、地域移行への希望等の意向の聞き取りを行った。その結果、野球部と吹奏楽部の顧問より、地域クラブへの移行についての相談があった。これらを基に、野球部と吹奏楽部の各学校顧問を招集し、意見の交換会を開くことができ、各顧問へ地域移行についての共通理解を得ることにつながった。

#### 令和8年度以降の中学校部活動の在り方について（県教委通知）

休日の部活動について、対応例として県から示されたのが以下の3つ  
令和6年2月13日付 教字第624号 教財第462号  
 「令和8年度以降の中学校部活動の在り方について」より

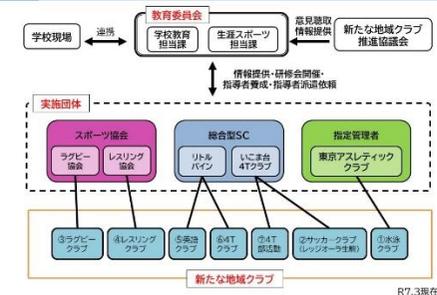
- ① 休日の学校部活動を地域クラブ活動へ移行し活動する
- ② 学校部活動は平日のみとし、休日の活動は行わない  
（休日の大会参加に際しては、教員が引率し、平日に振替を行う）  
 （令和8年度から部活動に係る休日の休業手当は支給されない）
- ③ 部活動指導員の指導により休日の活動を行う



生駒市は①に順次移行していくことを目指します

休日に指導を希望する教員は、兼職兼業の許可を得て、地域クラブ活動の指導者として指導することが可能です

#### 生駒市新たな地域クラブ活動推進事業



R7.3現在

#### コーディネーターの具体的な動きの実績

教育指導課とスポーツ振興課との間で、双方にまたがる書類の作成や、会議等の日程調整。会議上または、各課担当者、地域クラブ運営団体、地域指導者への助言。県中体連各競技専門部、各競技団体等への地域クラブの規定確認、市の方針（案）の作成。

#### 今後の課題と対応方針

市中体連専門部長や、教員への動画配信だけでは理解を得られていなかったことが、顧問の招集により詳細な内容が伝わったため、次年度も引き続き、未招集の専門部への説明を行い、全ての競技種目において顧問等の地域移行の希望等の意向を伺い、地域クラブへの理解と協力をいただく必要があると感じている。

## 2.実証内容と成果

ア：関係者との連絡調整・指導助言等の体制や運営団体・実施主体の整備

**イ：指導者の質の保障・量の確保**

ウ：関係団体・分野との連携強化

エ：面的・広域的な取組

オ：内容の充実

カ：参加費用負担の支援等

キ：学校施設の活用等

ク：その他の取組



### 取組内容

#### ●取組項目名 イ：指導者の質の保障・量の確保

##### 取組事項

指導者バンクの設置。(地域指導者と  
教員向けの指導者バンク。)

##### 人材バンクの人数

目標人数。120名。  
(学校にある部活動種目  
12種数×10名)

##### 人材バンクの年齢構成

18歳以上

##### 種目

バスケット  
野球  
バレーボール  
バドミントン・ソフトテニス  
水泳・卓球・陸上  
硬式テニス・ソフトボール  
吹奏楽

##### 資格有無

日本スポーツ協会スタート  
コーチや、中央競技団体公  
認指導者資格等を保持す  
ることを検討

##### 取組の成果

指導者バンクの設置を予定していたが、設置要綱等の内容を定めるに至らず、内容の検討にとどまった。

指導者バンクの設置ができなかったため、講習会の実施につながらなかったが、次年度より、指導者バンクの設置に伴い、年2～3回の実施を予定する。

なお、令和6年度については、指導法、救急法、ハラスメント及び不適切行為の防止について市で講習会を設け、地域指導者を希望する地域人材を育成することを目的に研修会を開催する想定であった。

## 2.実証内容と成果

ア：関係者との連絡調整・指導助言等の体制や運営団体・実施主体の整備

イ：指導者の質の保障・量の確保

**ウ：関係団体・分野との連携強化**

エ：面的・広域的な取組

オ：内容の充実

カ：参加費用負担の支援等

キ：学校施設の活用等

ク：その他の取組



### 取組内容

#### ●取組項目名 ウ：関係団体・分野との連携強化

##### 取組事項

市教育委員会と市内総合型地域スポーツクラブとの連携を強化するため、各クラブが協働で事業を開催した。

夏休みには水鉄砲大会を開催し、冬には幼児から大人までが参加できるサイクリングイベントを開催し、その中で市内各総合型クラブの周知啓発等を行った。

##### 取組の成果

市内各総合型地域スポーツクラブのスタッフ・関係者が、クラブの枠を超えてともに活動することで、協力関係を築くことができ、関係者の情報交換や運営についての相談など、情報の交換も日常的に行える関係性を保つことができた。

サイクリングイベントでは地域の県立高校やプロサイクリングチームに協力をしてもらい、今後、地域クラブなどで中学生などの児童・生徒たちと活動してもらえるような関係性を築くことができた。



#### イベント実績①

##### ー水鉄砲大会ー

・関係団体

総合型地域スポーツクラブ(2クラブ)

・参加者数 約60人(親子30組)



#### イベント実績②

##### ーサイクリングイベントー

・関係団体

総合型地域スポーツクラブ(2クラブ)

民間会社(1社)・県立高校(1校)

任意団体(1団体)

・参加者数 約40人(子ども20名 大人20名)



#### 今後の課題と対応方針

中学生の参加があまりなかったため、中学校世代が参加できる内容のイベントを開催し、中学生に総合型地域スポーツクラブの認識が広がることで、今後の地域クラブ活動での安心感を持ってもらえる。

## 2.実証内容と成果

ア：関係者との連絡調整・指導助言等の体制や運営団体・実施主体の整備  
イ：指導者の質の保障・量の確保  
ウ：関係団体・分野との連携強化  
**エ：面的・広域的な取組**

オ：内容の充実  
カ：参加費用負担の支援等  
キ：学校施設の活用等  
ク：その他の取組



### 取組内容

#### ●取組項目名 エ：面的・広域的な取組

##### 取組事項

市内全種目の地域移行を行う際の運営団体の設定および、実施種目の選定

##### 各自治体の役割

実施主体を決め、中学校にある種目ごとの顧問から移行について、各学校ごとに希望を聞き、市内での移行数や場所など提案をもらう。  
移行数と実施場所に合わせて、実施主体を割りあて、実施主体と委託契約を行う。

##### 負担金の在り方

実施に当たる金額は全額市負担（国からの委託金含め）を行い、受益者からも一定の金額を負担してもらう。家庭で負担が大きい場合（就学援助需給世帯）等には、市からの援助制度を設ける。

##### 事務局運営の方法

生駒市スポーツ振興課に、生駒市新たな地域クラブ活動推進協議会の事務局を設置し、会議の運営や地域人材バンクの設置、地域人材への講習会などを行う。

##### 取組の成果

市内で公益的な活動を行う、スポーツ協会・総合型地域スポーツクラブ・体育施設指定管理者等を設定した。  
各団体の割り当て種目が決定せず、面的な移行への取り組みができなかったため、次年度に行う予定。

##### 今後の課題と対応方針

将来的に、各実施主体への伝達事項や、運営にあたっての問題にあたる窓口を、市から外部機関への移行を考えておくことが必要。

# 2.実証内容と成果

ア：関係者との連絡調整・指導助言等の体制や運営団体・実施主体の整備  
 イ：指導者の質の保障・量の確保  
 ウ：関係団体・分野との連携強化  
 エ：面的・広域的な取組

**オ：内容の充実**  
 カ：参加費用負担の支援等  
 キ：学校施設の活用等  
 ク：その他の取組



## 取組内容

### ●取組項目名 オ：内容の充実①

#### 取組事項

- ・4 Tクラブ、4 T部活動（多世代、多種目、多志向、多様性）の新たな地域クラブの活動で、多様なニーズに対応でき、誰もが気軽にスポーツに親しむ機会の確保
- ・中学校部活動にない種目を新たな地域クラブ活動に取り入れることで、生徒の競技種目選択肢の充実を図る



活動の詳細			
参加人数	のべ 約100人	指導者数	14人
属性	総合型地域スポーツクラブ		
具体的な内容	リトルパイン総合型地域スポーツクラブ・いこま台4Tクラブ総合型地域スポーツクラブ設立準備委員会がそれぞれ緑ヶ丘中学校と光明中学校で月2回開催し、のべ100名にスポーツの機会を提供した。		
子供の声	<ul style="list-style-type: none"> <li>● もっと開催日を増やしてほしい</li> <li>● 知識が身に付いた</li> <li>● 楽しかった</li> </ul>		
関係者の声	<ul style="list-style-type: none"> <li>● もう少し優しく（簡単にしてほしい）</li> <li>● 一度に色々な種目のスポーツが体験できてよかった</li> <li>● 家族で参加できてよかった</li> <li>● 普段体験できない種目が体験できてよかった</li> </ul>		
運営経費	諸謝金（指導者・運営スタッフ） 消耗品費（スポーツ用具費含む） 雑役務費 運営費		

## 2.実証内容と成果

ア：関係者との連絡調整・指導助言等の体制や運営団体・実施主体の整備  
イ：指導者の質の保障・量の確保  
ウ：関係団体・分野との連携強化  
エ：面的・広域的な取組

**オ：内容の充実**  
カ：参加費用負担の支援等  
キ：学校施設の活用等  
ク：その他の取組



### 取組内容

#### ●取組項目名 オ：内容の充実②

##### 取組の成果

月2回、土曜日の夕方に開催したことで、保護者や兄弟姉妹と一緒に  
出向くことができ、多世代においてスポーツ機会の減少が解消された。

一つの種目に限らず、個々に興味のある種目を楽しむことができたり、普  
段体験しない種目に触れることができた。

これまでの中学生のスポーツ活動において、単一種目のみを体験してい  
る傾向から、多種目を楽しみ、将来にわたって、スポーツに親しむ土台づく  
りとなった。



車いすバスケット体験

ストリートダンス体験



##### 今後の課題と対応方針

参加費の設定を月額としたため、月2回のうち一回を欠席してしまうと一  
回あたりの参加費負担が大きくなった。

次年度より、都度の参加費設定にすることで、少しでも参加しやすい状  
況をつくる。

都度体験型の活動のため、段階的な技術の向上は見込めないため、

都度でも継続性のある体幹トレーニングなどを盛り込み、継続する環境づ  
くりも必要である。

# 2.実証内容と成果

ア：関係者との連絡調整・指導助言等の体制や運営団体・実施主体の整備  
 イ：指導者の質の保障・量の確保  
 ウ：関係団体・分野との連携強化  
 エ：面的・広域的な取組

オ：内容の充実  
**カ：参加費用負担の支援等**  
 キ：学校施設の活用等  
 ク：その他の取組



## 取組内容

### ●取組項目名 カ：参加費用負担の支援等①

#### 取組事項

受益者負担を、月の開催回数に合わせ、市内統一した金額の設定を行い、できる限り低廉な金額設定とする。費用の負担が大きい家庭（就学援助需給世帯等）へは、市からの援助を行うため、条例の設置を行う。

#### 地域クラブに係る経費

### ・指導に係る費用と運営に係る費用の想定

30クラブ活動の場合(週1回/年間)

【収入】

参加費	528,000	×	30	クラブ	15,840,000
市補助金(各クラブ一定金額)	200,000	×	30	クラブ	6,000,000
市参加費補助	22,000	×	30	クラブ	660,000
					¥22,500,000

市負担金 ¥6,660,000

【支出】

施設費用	22,000	×	30	ヵ月	660,000
謝金	488,400	×	30	クラブ	14,652,000
交通費	72,600	×	30	クラブ	2,178,000
消耗品費	24,750	×	30	ヵ月	742,500
運営費	132,000	×	30	クラブ	3,960,000
その他(雑役務費)	10,250	×	30	クラブ	307,500
合計					¥22,500,000

#### 持続的な運営に必要な受益者負担額の試算

●予想●

★週1日(一日3時間)の活動

参加者数 25名 指導者2名(メイン1名・補助1名)

									会費	
参加費	1	ヵ月	×	24	名	×	11	ヵ月	×	2000 528000
市補助金(各クラブ一定金額)										200,000
市参加費補助	1	ヵ月	×	1	名	×	11	ヵ月	×	2000 22000
合計										750,000

										単価
施設費用	1	日	×	4	週	×	11	ヵ月	×	500 22000
指導謝金①	1	日	×	4	週	×	11	ヵ月	×	5100 224400
指導謝金②	1	日	×	4	週	×	11	ヵ月	×	3000 132000
指導謝金③	1	日	×	4	週	×	11	ヵ月	×	3000 132000
指導者交通費①	1	日	×	4	週	×	11	ヵ月	×	550 24200
指導者交通費②	1	日	×	4	週	×	11	ヵ月	×	550 24200
指導者交通費③	1	日	×	4	週	×	11	ヵ月	×	550 24200
消耗品費	1	日	×	1	ヵ月	×	11	ヵ月	×	2250 24750
運営費	1	日	×	4	週	×	11	ヵ月	×	3000 132000
その他(雑役務費)										10250
合計										750000

#### 取組の成果

2024年度中に取り組む予定だったが、検討事項が多岐にわたり、受益者負担金の補助金設置が間に合わない状況活動を行った。月の活動予定日数で一定の金額の受益者負担で徴収し、活動を行った。

#### 今後の課題と対応方針

新たな地域クラブ活動での参加費補助制度の設置に向け、検討事項の整理を行う。

## 2.実証内容と成果

ア：関係者との連絡調整・指導助言等の体制や運営団体・実施主体の整備  
イ：指導者の質の保障・量の確保  
ウ：関係団体・分野との連携強化  
エ：面的・広域的な取組

オ：内容の充実  
カ：参加費用負担の支援等  
**キ：学校施設の活用等**  
ク：その他の取組



### 取組内容

#### ●取組項目名 キ：学校施設の活用等

##### 取組事項

休日夜間の学校を利用し、定期的な多種目の活動をする新たな地域クラブ活動を2校で行った。また、地域クラブへ移行したサッカークラブが日中の運動場を利用し、練習を行った。学校体育施設の利用を今後、新たな地域クラブ活動が部活動に代わって使用することが想定されるため、学校開放事業の見直しを検討した。

##### 取組の成果

現在、学校ごとに利用時間帯等が異なるなど、ルール化が必要な状況が分かった。そのため、新たな地域クラブ活動として、学校部活動の地域移行を進めるため、学校体育施設開放のルールの見直しを行うこととなった。

##### 今後の課題と対応方針

学校体育施設の利用時間の均等化、利用回数の平等化、利用団体のルール化、鍵の貸し借りの方法などについて、制度化を行う。



### 総括・成果の評価・今後に向けて

#### ●総括

令和5年度から継続して4つのクラブ（水泳・レスリング・ラグビー・4Tクラブ）が活動した。

2年目を迎えて、実施団体を中心に安定したクラブ運営を行うことができた。

4月より光明中学校サッカー部が休日の地域移行を目指し、9月より本格的に休日の地域移行を行った。

学校部活動で活動する部活が新たな地域クラブサッカークラブ地域移行し、教員が兼職兼業で地域指導者として登録した最初の例となった。

事務的な手続きや活動における枠組みなど、活動が進むにつれて変更や再考の必要性が見えた。

1月末に、市内野球部の顧問より地域移行についての相談があり、2月に市内全野球部顧問を招集し、それぞれの学校の状況を聞き、併せて土日の地域移行への希望等の調査を行った。

ほとんどの学校で始めの段階としては、単体での移行を希望されるケースが多く、段階的にクラブの集約をしていく方向性の検討を行った。

#### ●成果の評価

新たなサッカークラブの実施により、平日の部活動と休日に地域移行を行った地域クラブが同じ学校での活動となる場合に、スポーツ用具や、兼職兼業を行う教員の指導に関する棲み分けを明確にしておくことの必要性が様々な場面で生じた。この経験から、兼職兼業で協力してくれる教員への対応や、地域クラブの運営管理方法に規定すべき事項が明確となってきた。

また、学校部活動を地域移行する際の手続き（中体連への手続きなど）も、どのタイミングなら可能なのか、大会時などの地域指導者謝金の設定について、今後市内で一気に増加する必要費用についての検討が必要であるとの認識を深めた。

これまでの部活動で掲げていた目標設定が、人材確保や財源など様々な課題により修正が生じる可能性もあり、保護者や指導者など関係者の理解と協力が必要であることが分かった。

#### ●今後に向けて

限られた人材や財源の中で、これまでと同様の活動が困難なことが判明し、人材確保や財源の捻出方法、部活動の地域移行に際しては、しっかりと地域クラブ（指導者含め）との話し合いや規定を設ける必要がある。

### 活動風景・参加者の声

#### ●活動風景(新たな地域クラブ活動 レスリングクラブ)

実施団体：(一財)生駒市スポーツ協会  
運営：生駒市レスリング協会

#### 準備運動①

バランス・瞬発力・敏捷性の向上



#### 準備運動②

基礎体力の向上



レスリングの基本  
タックルの練習



技術練習  
寝技の練習



#### ●参加者の保護者、スタッフの声

##### 中学1年生

平日は地域のレスリングクラブに入っているが、新レス（新たなレスリング）の日は、いつもの先生（指導者）以外の先生からも教えてもらえるので勉強になる。新レスにだけ参加する小学生などもあるので、いつもとは違うメンバーでレスリングができて嬉しい。

##### 小学2年生

レスリングクラブだけだと、マット運動やいろんな練習ができて楽しい。  
レスリングは、難しいことも多いけど、できるようになった時は嬉しい。

##### 中学生保護者

平日は地域のレスリングクラブで活動していますが、日ごろの厳しい練習ではなく、こちらでは楽しくレスリングに親しんでくれています。初心者の子びっこレスラーも多いため、その子たちにタックルなどの技を教えたり、いつもとは違った姿を見ることが出来るのも保護者としては楽しみのひとつでもあります。学校の部活動に入っていないため、こういった取り組みを生駒市が進めてくれることに感謝しています。

##### 指導者（生駒市レスリング協会役員）

生駒市が進められる部活動地域移行の一環で、新たな地域クラブ活動レスリングクラブとして、学校部活動にない種目として、子どもたちの選択肢を広げるために、実施団体である(一財)生駒市スポーツ協会の加盟団体として市レスリング協会が運営させていただいています。このクラブは競技力の向上ではなく、レスリング競技の楽しさを伝えることを目的として実施しています。対象は年中児から中学3年生まで幅広く、レスリング中心の内容ではなく、バランス、瞬発力、敏捷性など基礎体力の向上を目指した内容を多く含み、まずはスポーツを好きになってもらえるように考えています。とにかく楽しくをモットーにこれからも進めていきたいです。

### 活動風景・参加者の声

#### ●活動風景(新たな地域クラブ活動 4 T部活動) 実施団体・運営：いこま台4 Tクラブ総合型地域スポーツクラブ設立準備委員会



多世代バスケットボール



小学生バスケットボール



多世代バレーボール



多世代フットボール



中学生バドミントン



多世代バドミントン



小・中学生車いすバスケット



多世代車いすバスケット



ボードゲームも置いています



4 Tカフェ



4 Tカフェでほっと一息



参加者みなでお掃除

#### ●参加者やスタッフの声

##### 小学3年生

4 Tでは、いろんなスポーツを自由にできるし、中学生のお兄ちゃんと遊んだりできるから楽しい。

4 Tカフェで、みんなで飲み物を飲むのも楽しい。毎回楽しみにしてる。

##### 中学1年生

地域のスポーツチームに入っているため、同じ学校の友だちと学校の授業以外で一緒にスポーツをすることがないので、4 Tで、友だちとワイワイ楽しくスポーツができて嬉しい。

4 Tでは、いろんなスポーツができるので、それも嬉しい。

##### 指導者(いこま台4 Tクラブ役員)

生駒市独自の取り組み「4T部活動」。多世代・多種目・多志向・多様性の4つの「多(TA)」を合言葉に、参加者みんなが楽しめる、ルールにとらわれない、こどもたちの自主性を第一に考えた指導を心がけています。多様な参加者のニーズに対応できるよう、ボードゲームやカフェを設置し、スポーツ以外にも楽しんでもらえるよう工夫しています。

##### 運営補助員(地域のボランティア)

今までのスクール形式ではない新しい形のクラブ活動。

新たな取り組みのため、とまどうことも多いですが、参加することもちやや地域の人たちが、とにかく楽しめるように運営のサポートに徹しています。何より参加者の笑顔を見ることが嬉しいです。



## 2.実証内容と成果④

### 参考資料（活動写真）



【水泳クラブ】



【サッカークラブ】



【4Tクラブ（多世代・多種目・多志向・多様性）】



【レスリングクラブ】

## 地域スポーツクラブ活動の実施に至るまでの合意形成プロセス



### 地域クラブ発足のきっかけ

- 市内中学校教員向けに地域移行説明動画の配信。
- 動画を見た市内北部の中学校の顧問より地域移行について相談を受ける。その後、地域移行への希望等の調査を行った。
- 現場の教員からの話を聞いたことで、教員の動画への理解の状況を知ることができた。伝わっていない点に気づきがあった。

### 地域クラブの発足への一歩

- 市内全野球部顧問を招集して地域移行への理解度と地域移行の希望の意向についてヒアリング。
- 平日と休日で活動場所が変わることを考えると、用具移動の難しさなどにより、当初は各中学校単位で移行を進め、将来的に集約していくことが望ましいという方向性が見えた。
- 大会等で顧問が個々に合う機会があったとしても、専門部全体で地域移行について議論する機会はなかったため、一堂に会する機会ができたことは有意義であったと考えている。

### 地域クラブの発足準備

- これまでの運動部活動の新たな地域クラブ発足の例を基に、地域指導者と実施団体（受け皿団体）の検討を行う
- 地域指導者は、当面は現在の部活動顧問の協力も得ながら、市教育委員会や実施団体の関係者などでも指導者の確保を進める。
- 地域クラブ発足に向けた体験会の実施、今後のスケジュールの作成。

# 3. 今後の方向性

## 地域連携・地域移行の推進に向けたロードマップ

	2021年 (令和3年)	2022年度 (令和4年)	2023年度 (令和5年)	2024年度 (令和6年)	2025年度 (令和7年)	2026年度 (令和8年)
奈良県			令和8年度より休日の 教員の指導を 廃止する方針を発表			土日の教員による 部活動の指導廃止
生駒市 【教育委員会事務局】						
(教育指導課)			新たな地域クラブ活動推進協議会の設置	生駒市新たな地域クラブ活動の在り方に関する方針の策定 春：中体連の専門部会へアンケートを実施 10月：教職員へ地域移行に関する動画の配信 秋：現在の部員数を見て、R8に残す部活数を検討開始 12月：生徒及び保護者へ地域移行に関する動画の配信	次年度春からのクラブ数決定	
(スポーツ振興課)	「地域部活動推進事業」における部活動の段階的な地域移行に関するモデル事業	「地域部活動推進事業」における部活動の段階的な地域移行に関するモデル事業	・地域スポーツ活動体制整備事業 ・文化部活動の地域移行等に向けた実証事業	実施団体の育成 土日の指導員の確保 (資格・専門性に限らず、子どものスポーツ文化の機会の継承に協力してもらえる方) 新たな地域クラブ活動推進協議会の開催	休日の地域移行種目を増やししながら、実施団体への助言や補助 人材バンクの整備	

令和6年度

# 地域スポーツクラブ活動体制整備事業

地域スポーツクラブ活動への移行に向けた実証事業

## 奈良県香芝市

自治体名：奈良県香芝市

担当課名：学校教育課

電話番号：0745-44-3335

# 1.自治体の基本情報

## 基本情報

面積	24.26km <sup>2</sup>
人口	78,324人
公立中学校数	4校
公立中学校生徒数	2,362人
部活動数	62部活
市区町村の協議会・検討会議等の設置状況	設置済み
市区町村の推進計画・ガイドライン等の策定状況	策定済み

## 地域連携・地域移行における市区町村の現状・課題

市内全ての中学校において、生徒たちは積極的に部活動に参加しており、令和6年5月時点での入部率は81.5%となっている。現時点では活動に支障の出るような部員数とはなっていないが、今後は生徒数の減少、またそれに伴う教員数の減少が予想されることから、部活動数の削減を検討している学校もある。

そのような状況の下、市内のどの学校においても、可能な限り生徒たちそれぞれが興味をもっている種目の活動を行えるように、地域クラブ活動への移行と拠点校方式での運用の両面から、持続可能な方法について検討を重ねているところである。

地域移行する場合、必要経費の一部は家庭負担を想定しているが、移行途中のアンバランスや、部員の人数による不公平感とならないように、工夫が求められる。またその場合の経済的な支援の在り方についても検討が必要である。

学校教育活動における「部活動の意義」の有効性についての声が大きく、地域移行についての否定的な意見も一定数あるため、生徒・保護者や教員の理解を得て進める必要がある。

これまで指導に当たっていた教員のうち、引き続き指導を希望する教員が地域部活動の指導者になって指導にあたることも想定されるが、兼職兼業を実現するには部活動指導・引率以外の業務も含めて改善を進めていく必要がある。

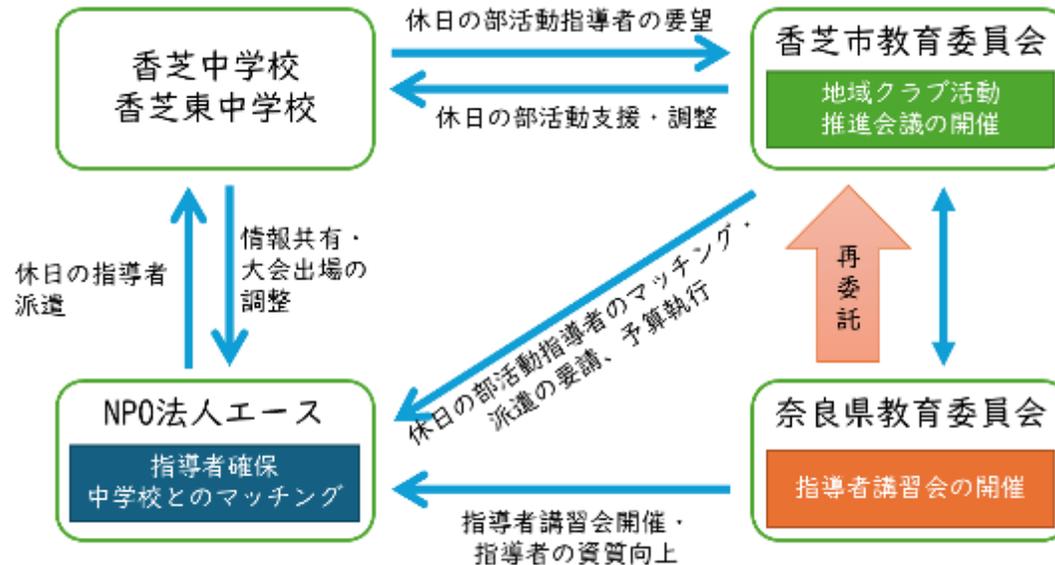
市立中学校生徒数の推移  
(学校基本調査より)



## 2.実証内容と成果

### 運営体制・役割

#### ●運営体制図（市区町村における推進体制図）



#### ●行政組織内での役割分担

##### ◎教育委員会

- ・学校教育課・・・部活動改革の主幹、学校との調整・連携、学校に関する事項について
- ・生涯学習課・・・中学生の地域スポーツ・文化活動の環境整備

##### ◎首長部局

- ・財政課・・・予算措置

### 年間の事業スケジュール

- |         |  |
|---------|--|
| 令和6年6月  | <ul style="list-style-type: none"> <li>・入開札、委託事業者と契約（香芝東中）※香芝中は不調だったため再度実施</li> <li>・児童生徒・保護者・教職員への説明及びアンケート実施</li> </ul>                  |
| 令和6年8月  | <ul style="list-style-type: none"> <li>・第1回香芝市地域クラブ活動推進会議の開催（関係者間の顔合わせ、現状の説明、方針の確認等）</li> </ul>  |
| 令和6年9月  | <ul style="list-style-type: none"> <li>・入開札、委託事業者と契約（香芝中）</li> </ul>   |
| 令和6年11月 | <ul style="list-style-type: none"> <li>・第2回香芝市地域クラブ活動推進会議の開催（進捗状況の報告、地域移行に向けた意見聴取等）</li> <li>・市立中学校長との協議</li> <li>・各種目顧問からの聞き取り</li> </ul> |
| 令和7年2月  | <ul style="list-style-type: none"> <li>・第3回香芝市地域クラブ活動推進会議の開催（次年度以降の体制や地域クラブ活動に関しての意見聴取等）</li> <li>・事業完了報告書・成果報告書等の作成</li> </ul>            |
| 令和7年3月  | <ul style="list-style-type: none"> <li>・児童生徒・保護者・教職員向けオンライン説明会の実施</li> </ul>   |

## 2.実証内容と成果

### 地域スポーツクラブ活動の運営実績

#### ①全体に関すること

中学校数	4校	実施した地域クラブ総数	2クラブ
ケース別クラブ数	A：部活動を地域移行した形のクラブ数（及び移行された部活動数）		2クラブ（2部活）
	B：部活動を移行する形態ではない地域クラブ（新たな種目のクラブを新規に創設するケース等）		0クラブ
全体の指導者数	6人	全体の運営スタッフ数	4人

#### ②各クラブに関すること

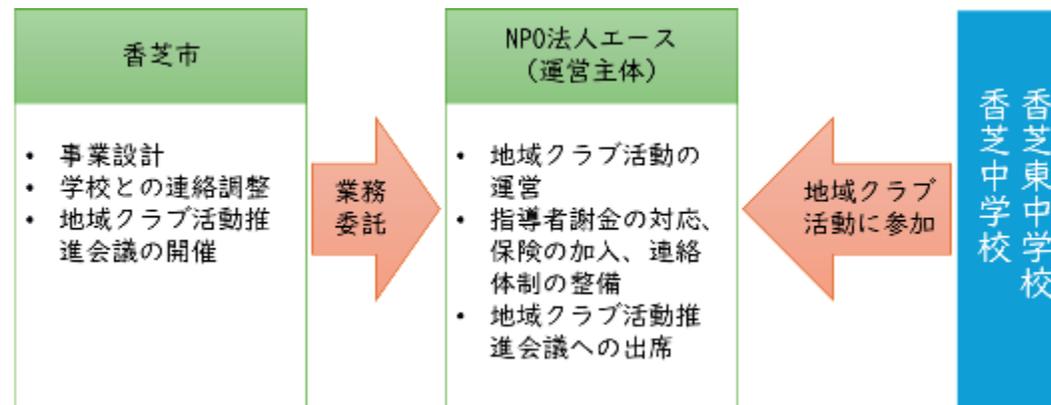
クラブ名	運営団体種別	種目 ※新規のものは末尾に（新）を付ける	実施回数	実施時間帯	参加者 (学年別)	実施期間	活動場所	指導者数	運営スタッフ数 (他クラブと兼務)	会費	大会参加方法
-	総合型地域スポーツクラブ	バスケットボール	週1回	8:30～11:30 又は 13:00～16:00	1年生13人 2年生19人	令和6年9月～令和7年2月	香芝中学校	4人	3人 (内、兼務2人)	0円	部活動
-	総合型地域スポーツクラブ	卓球	週1回	8:30～11:30 又は 13:00～16:00	1年生11人 2年生13人	令和6年9月～令和7年2月	香芝東中学校	2人	3人 (内、兼務2人)	0円	部活動

## 主な取組例

### ●活動概要

拠点校名	香芝中学校・香芝東中学校
地域クラブ活動に移行した部活動数	2部活
地域クラブ活動で実施した種目	バスケットボール、卓球
運営主体名	総合型地域スポーツクラブ 特定非営利活動法人 エース
運営類型	総合型地域スポーツクラブ運営型
1か月あたりの平均的な活動回数	バスケットボール：月5回程度 卓球：月4回程度
指導者の主な属性	総合型地域スポーツクラブから派遣
活動場所	中学校体育館
主な移動手段	徒歩・自転車
1人あたりの参加会費等（年額）	徴収なし
1人あたりの保険料	スポーツ安全保険 生徒1人あたり：800円/年 指導者1人あたり：1,850円/年

### ●運営体制図（地域クラブ活動を実施する際の運営体制図）



### ●指導者や運営スタッフなどの役割分担等

- 統括責任者 2名  
役割：指導者の派遣全般に関する管理を行う
- 指導者 4名  
役割：地域クラブ活動における指導や、大会等への引率を行う
- 運営補助者 1名  
役割：指導者に対して、スケジュール・実績管理及び報酬や交通費の支払い等を行う

## 2.実証内容と成果

ア：関係者との連絡調整・指導助言等の体制や運営団体・実施主体の整備

イ：指導者の質の保障・量の確保

ウ：関係団体・分野との連携強化

エ：面的・広域的な取組

オ：内容の充実

カ：参加費用負担の支援等

キ：学校施設の活用等

ク：その他の取組



### 取組内容

#### ●取組項目名 ア：関係者との連絡調整・指導助言等の体制や運営団体・実施主体の整備

##### 取組事項

児童生徒や保護者が地域クラブ活動に望むことを把握するため、説明資料の提供とともに、アンケート調査を行った。

地域移行後の受け皿としては、将来的に総合型地域スポーツクラブ等に委託することを選択肢として持っているが、そのための体制作りに向けての協議を行った。

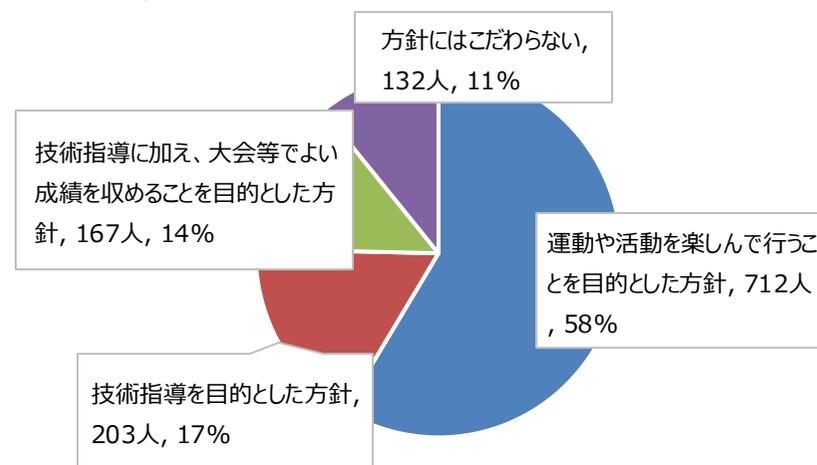
各種目の顧問に聞き取りを行い、競技の特性、年間の大会スケジュール、参加要件、必要となる備品等の把握に努めた。

##### 取組の成果

アンケート結果から、半数以上の保護者が、運動や活動を楽しんで行うことを目的とした方針での運営を望んでいることと、技術の向上や大会等での結果を重視している保護者がいることが分かった。

現在の部活動各種目の状況を把握することで、令和8年度開始予定の地域クラブ活動の体制や、必要物品等の整理を行っている。今後さらに精査を進め、令和8年度の予算要求に向けて準備を進めていく。

【小4～中1の子どもを持つ保護者】休日の部活動を地域が担う場合の活動方針として望むものに近いのはどれですか。  
n=1,214



##### 今後の課題と対応方針

現在の中学校部活動をベースに、生徒がそれぞれ興味のある活動に心おきなく取り組めること、またそのための持続可能な環境を構築することを目指し、令和8年4月に香芝市地域クラブを発足する予定である。種目により、2～4つの中学校区で1つのクラブとすることを基本とし、団体数を現在の中学校部活動よりも減らすことで必要な指導者数や活動場所を削減する。部活動の区切り時期に合わせ、令和7年度3年生引退後の代替りの時期より地域クラブと同一単位で拠点校方式での活動を開始することで、令和8年4月からの円滑な移行を目指す。

児童生徒・保護者・教職員にその内容を正しく理解していただき、円滑な移行を実現するために、関係機関との連携を図るとともに、情報提供や周知に注力する。

# 2.実証内容と成果

ア：関係者との連絡調整・指導助言等の体制や運営団体・実施主体の整備  
**イ：指導者の質の保障・量の確保**  
 ウ：関係団体・分野との連携強化  
 エ：面的・広域的な取組

オ：内容の充実  
 カ：参加費用負担の支援等  
 キ：学校施設の活用等  
 ク：その他の取組



## 取組内容

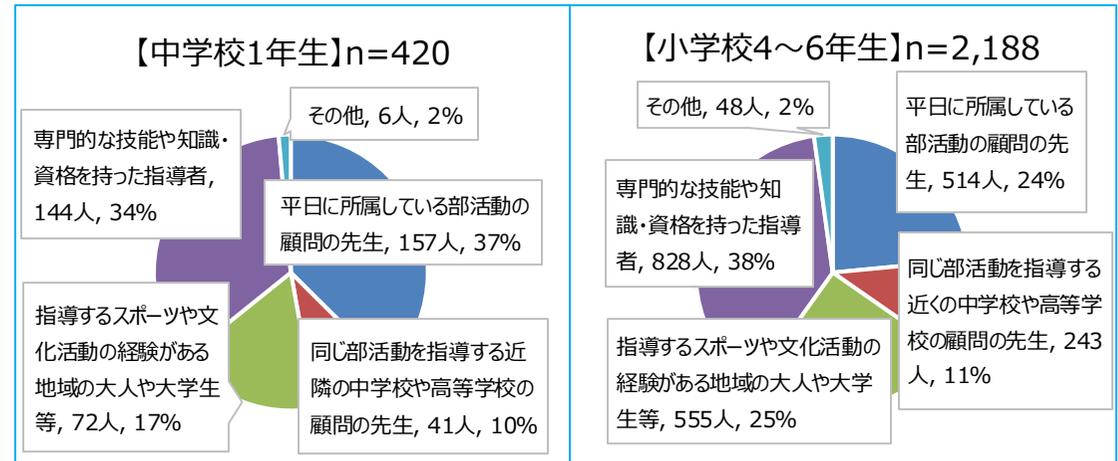
### ●取組項目名 イ：指導者の質の保障・量の確保

#### 取組事項

地域にスポーツクラブ等が少ない当市では、兼職兼業での指導を希望する教職員の確保が重要であると、令和5年度に香芝市地域クラブ活動推進会議でも意見をいただいていたこともあり、市立小中学校教職員に対してオンデマンド形式での説明動画配信と、アンケート調査を実施した。

また実証として地域移行した2つの部については、主に技術指導の面で、普段から顧問が「より専門的な指導が必要」と感じている種目について、指導者を派遣してもらった。

もし、あなたが休日に地域で行われるスポーツや文化活動に参加するとしたら、どのような指導者がよいですか。



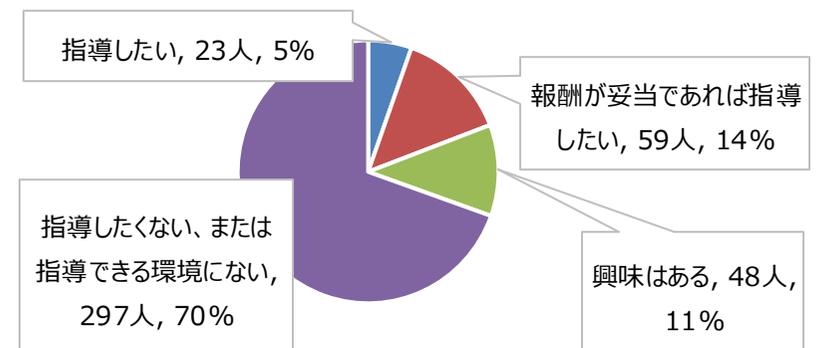
#### 取組の成果

アンケートでは、小学生・中学生ともに、指導者として専門的な技能や知識・資格を持った指導者、また学校の教員を望んでいることがわかった。

教職員へのアンケートでは、地域移行後の休日の活動について、「指導したい」又は「報酬が妥当であれば指導したい」と回答したのは、82人（約19%）、「興味がある」まで含めると130人（約30%）という結果になった。

兼職兼業と各自のワークライフバランスについての理解促進を図るため、各校管理職を通じて、令和8年度の地域クラブ活動の構想について説明を行い、地域クラブ活動指導者としての仮登録を進めている。

**【教職員】**中学校の休日部活動が地域クラブ活動に移行する際、指導可能な種目や内容であれば兼職兼業の形で指導することを希望されますか。 n=427



## 2.実証内容と成果

ア：関係者との連絡調整・指導助言等の体制や運営団体・実施主体の整備  
イ：指導者の質の保障・量の確保  
ウ：関係団体・分野との連携強化  
エ：面的・広域的な取組

オ：内容の充実  
カ：参加費用負担の支援等  
**キ：学校施設の活用等**  
ク：その他の取組



### 取組内容

#### ●取組項目名 キ：学校施設の活用等

##### 取組事項

今後、保護者等に負担が見込まれる受益者負担を低廉な額とすることや、生徒の安全を確保するため、学校体育施設を中心に実証事業の活動を実施するよう調整を行なった。

拠点中学校顧問・運営主体・事務局の三者で協議する機会を持ち、事業への協力及び施設の利用について調整を行った。

##### 取組の成果

これまでの休日学校部活動と同様に、学校施設を活用して実証を行ったため、施設利用料を発生させることなく地域移行をすることができた。また、生徒の移動も増加なしで活動を行うことができた。

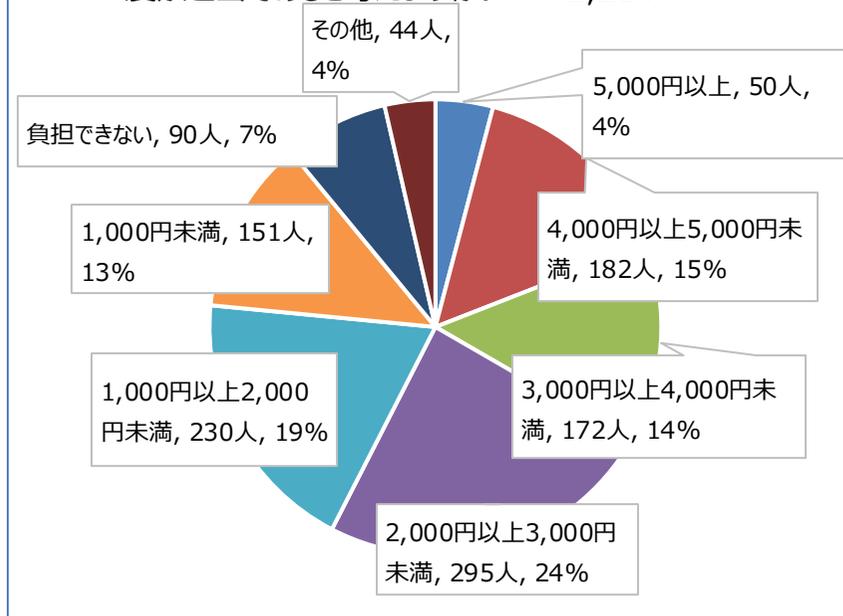
保護者へのアンケートからは、月額として「負担できない～3,000円未満」が約63%、「負担できない～2,000円未満」が約39%であることが分かった。

##### 今後の課題と対応方針

本市では、地域クラブ活動への移行後も、現在の学校部活動と同様に、生徒たちが費用の心配なしにそれぞれが希望する種目に取り組める環境を目指している。そのために、受益者負担を最小限に抑えることを目標としている。実現のためには、学校施設を活用することを基本としたい。令和8

年度からの地域クラブ活動においては、複数校をまとめたクラブ編成を想定しており、生徒や指導者の移動も含め、今後も効率的な施設の活用について検討を続けていく。

【保護者】地域移行後、月ごとの費用負担はどの程度が適当であると考えますか。 n=1,214



### 総括・成果の評価・今後に向けて

#### ●総括

令和4年から3年間、総合型地域スポーツクラブに指導者の管理や派遣を委託する形で実証事業を進めてきた。その中で、香芝市地域クラブ活動推進会議において、地域にスポーツクラブ等の少ない本市では、指導者の確保が困難であると意見をいただいた。

学校部活動と地域クラブ活動のシームレスな連携を目指す本市にとって幸いなことに、相当数の教職員が休日の地域クラブ活動の指導に興味を抱いている。継続して周知や説明を丁寧に行うことで、より深い理解を得ることとしたい。

また、教員の働き方改革の推進とともに、兼職兼業であっても、教職員のワークライフバランスが適正なものとなるよう、努めていく。それにより、生徒たちが平日・休日ともに安心してそれぞれの活動に顧問教員や地域指導者とともに取り組み、力を発揮することができる環境を目指していく。

#### ●成果の評価

これまで、もともとの中学校の部活動に、地域指導者を配置する形での実証を行ってきた結果を、次のように整理している。

- ・活動場所を学校部活動と同一とできたことで、活動への参加について、部員に負担がなかった。
- ・その種目における専門性の高い指導者を配置することができたため、部員は指導に満足し、技術の上達を実感できた。
- ・その種目に対して経験の少ない顧問にとって、技術指導や審判業務等はもちろんのこと、心的負担も含めて軽減することができた。
- ・顧問教員が休日に関わるが多く、部員にとっては安心な環境であったが、顧問が部活動に携わる時間の削減は、あまり達成できなかった。

#### ●今後に向けて

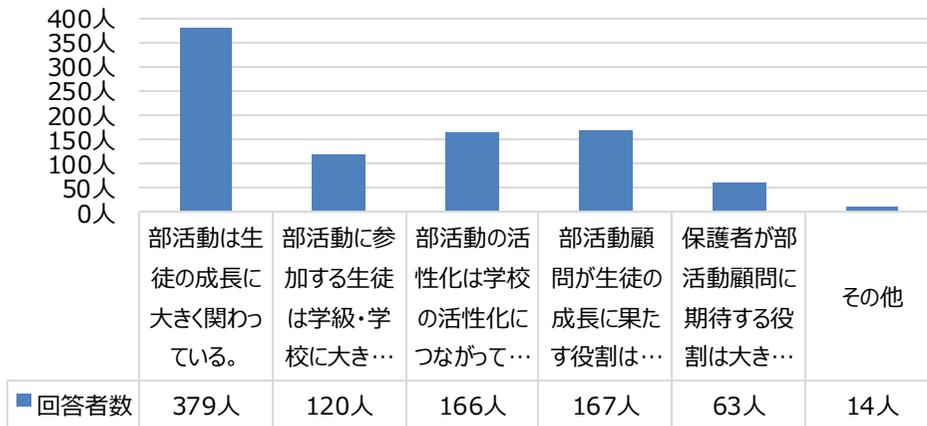
国や県の方針に則り、本市でも令和8年度に地域クラブ活動をスタートする予定である。生徒数の更なる減少にも対応できるよう、複数校をまとめる形でのクラブ体制とする方針としており、可能な限りの円滑な移行を目指して、部活動の区切りである令和7年度の3年生引退後より原則すべての部活動で拠点校方式を導入することとしている。

学校部活動でなくなることによる受益者負担を極力低廉にすることや、休日の練習場所への移動の問題等、課題はあるが、学校や関係機関との対話を続け、生徒や保護者に正しい情報を提供することにより、香芝市の子どもたちにとって、よりよいスポーツ・文化芸術活動の体制を構築していきたい。

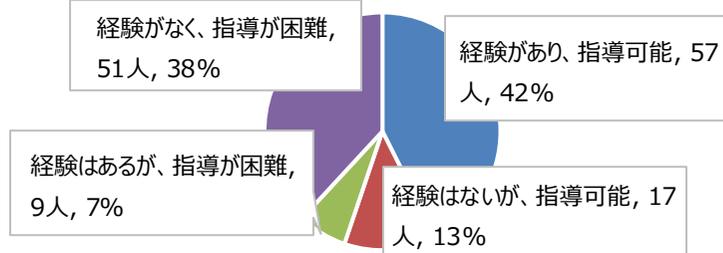
## 2.実証内容と成果②

### アンケート結果

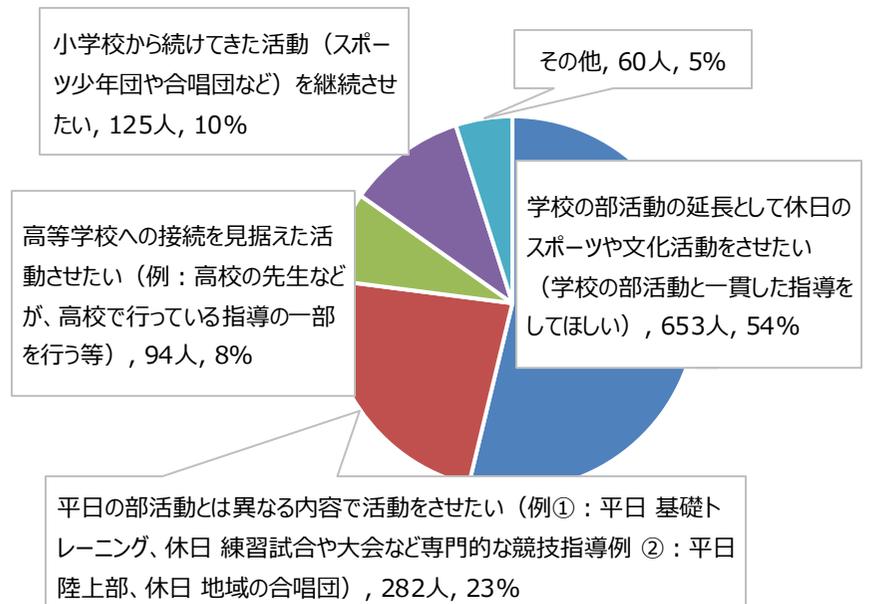
【教職員】部活動について、あなたの考えに近いものを3つ以内で選んでください。(複数回答) n=427



【顧問教員】現在担当されている部活動は、経験のある種目・内容ですか。 n=134



【保護者】お子さまを休日の地域スポーツや文化活動に参加させるとしたら、どのような活動をさせたいですか。 n=1,214



## 広報資料

### 香芝市立中学校

#### 令和7年度以降の部活動及び休日地域クラブ活動について

休日の学校部活動から地域クラブ活動への移行に向けて、香芝市では次のスケジュールで進める予定です。

	令和7年度		令和8年度～
	3年生引退前	3年生引退後	
平日	学校部活動（令和8年度以降も学校部活動として継続します）		
休日	学校部活動 （一部の部活動で拠点校方式）	学校部活動 （原則全ての部活動で拠点校方式）	地域クラブ活動

「拠点校方式」：拠点（中心）となる学校を決め、他の学校の部員も一緒に活動すること  
 「地域クラブ活動」：学校の活動ではなく、地域のクラブチームとして活動すること

※ どちらの場合も、複数の学校がまじり合って活動します。例えばA中学校で、B中学校の部員も一緒に練習を行います。平日の活動も、必要に応じて拠点校での活動に参加可能です。



◆それぞれの時期の活動イメージ

	令和7年度		令和8年度～
	3年生引退前	3年生引退後	
休日の活動場所	通っている中学校	市内中学校	
休日の指導者	中学校の先生・部活動指導員		地域の指導者 （地域の指導者として活動する先生も含む）
大会等への参加	通っている中学校から	原則、拠点校方式のチームから	地域クラブから
費用	用具代、登録費、大会参加費、交通費など		用具代、登録費、大会参加費、交通費、地域クラブの会費、保険料など
補償	<平日・休日とも> 災害共済給付（日本スポーツ振興センター）		
休日の活動への参加	平日と同じ活動に参加		
休養日	1週間あたり、平日1日、休日1日を基本とする		

香芝市教育委員会事務局 学校教育課・生涯学習課

【生徒への参加啓発チラシ】

出典:香芝市教育委員会

### 中学生を対象とする 香芝市の地域クラブが スタートします。

令和8年度4月から、平日の部活動に加えて地域クラブがスタートします。平日の部活動での成果を休日に地域クラブで発揮しませんか？  
 （※地域クラブから、中体連等が主催する公式戦に出場できます。）

**地域クラブがスタートする予定種目**

野球、サッカー、バスケットボール、バレーボール、卓球、陸上競技、吹奏楽、ソフトテニス、合唱、弓道など

**対象** 香芝市立中学校の生徒

**指導員** 市内の小・中学校の教員も多数登録

**活動場所** おもに市内各学校の施設

**費用** 保険料800円（年費）、クラブ活動費 月額2,000円程度を予定  
 各種目の活動に必要な用品代

【問合せ先】 香芝市教育委員会 学校教育課 TEL:0745-44-3335  
 生涯学習課 TEL:0745-44-3339

【生徒への参加啓発チラシ】

出典:香芝市教育委員会

## 2.実証内容と成果④

### 参考資料（活動写真）

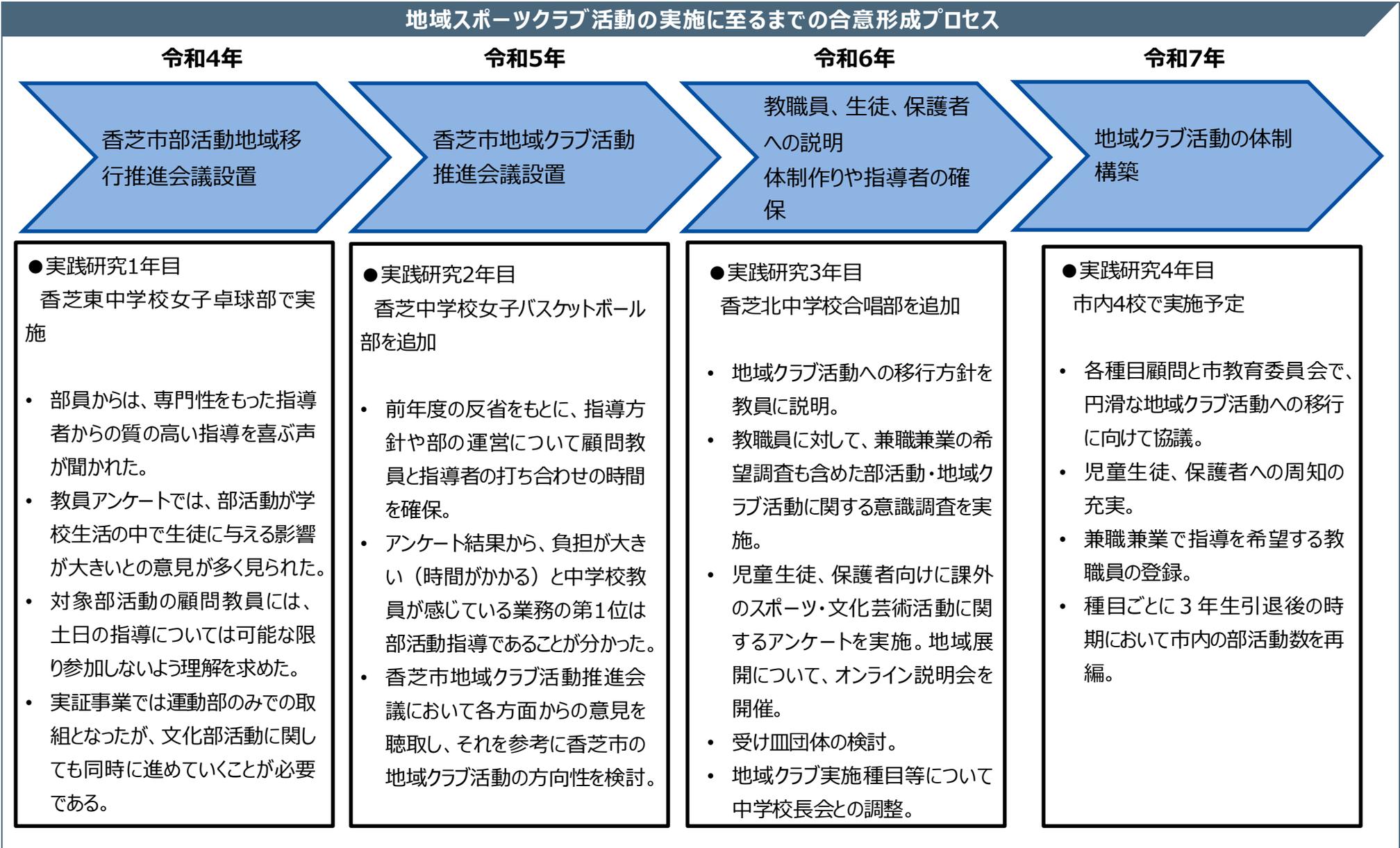


【香芝中学校女子バスケットボール部】



【香芝東中学校女子卓球部】

## 地域スポーツクラブ活動の実施に至るまでの合意形成プロセス



# 3. 今後の方向性

## 地域連携・地域移行の推進に向けたロードマップ

### 香芝市地域クラブ活動推進スケジュール(案)

	令和4(2022)年度	令和5(2023)年度	令和6(2024)年度	令和7(2025)年度	令和8(2026)年度以降
香芝市教育委員会	香芝市地域クラブ活動推進会議				
			地域クラブ活動の体制構築	3年生引退後原則全ての部活動を拠点校方式に移行	休日地域クラブ活動への移行
香芝市立小中学校	休日の部活動の段階的な地域移行に関する実践研究 R4～：香芝東中女子卓球部 R5～：香芝中女子バスケットボール部を追加 R6：香芝北中合唱部を追加 R7：拠点校方式で 実証				
		拠点校方式での部活動・教員への周知・兼職兼業を希望する教員の調査			
スポーツ協会・統合型地域SC		将来的な受け皿団体としての協議・調整			
学校体育団体・競技団体・文化芸術団体	大会等の実態把握 大会等の在り方の整理	生徒にとって望ましい合理的な大会等の推進			

改革集中期間（奈良県）

令和6年度

# 地域スポーツクラブ活動体制整備事業

地域スポーツクラブ活動への移行に向けた実証事業

## 奈良県葛城市

自治体名：奈良県葛城市

担当課名：学校教育課

電話番号：0745-44-5108

# 1.自治体の基本情報

## 基本情報

面積	33.73 km <sup>2</sup>
人口	37,847 人
公立中学校数	2 校
公立中学校生徒数	1,098 人
部活動数	33部活
市区町村の協議会・検討会議等の設置状況	葛城市立中学校における部活動の在り方検討委員会 (R6設置)
市区町村の推進計画・ガイドライン等の策定状況	葛城市学校部活動の地域展開に関する基本方針 (R7施行予定)

## 地域連携・地域移行における市区町村の現状・課題

令和6年度より実証事業として学校部活動の種目にはない「相撲部」を葛城市の地域クラブとして設置したが、体験入部のみで、正式入部にはいたらなかった。

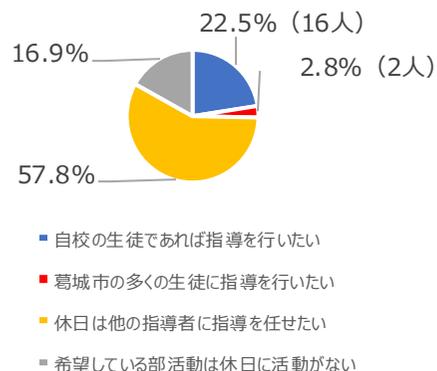
令和7年度以降の部活動の地域展開を推進していくにあたり、多様な意見を聴取するため、令和6年度に「葛城市立中学校における部活動の在り方検討委員会」を設置した。今年度は4回の会議を実施し、県教育委員会、葛城

市の教育長、教育委員、文化協会会長、体育協会会長、学校長、教諭、保護者等を交えて議論を行い、運営団体や実施主体について一定の方向性を定めることができた。

また、今年度は市内小中学生とその保護者を対象に1回、市内小中学校の教員を対象に複数回のアンケートによる意識調査を行い、ニーズの把握に努めた。また「葛城市地域クラブ指導者人材バンク」を設置し、広報やHP等を活用し、指導者を募っている。

当初は各種目で両中合わせて1つの地域クラブの設置を考えていたが、アンケート結果等を踏まえて、原則はそれぞれの中学校区で地域クラブの設置をする方向で休日の地域移行を進めている。外部団体に休日の活動を移行する部活動については、現在連絡・調整を進めているところである。

中学校教員へのアンケート (R7.2月実施)  
希望する部活動の顧問となった場合、  
休日の指導についてどう考えますか。

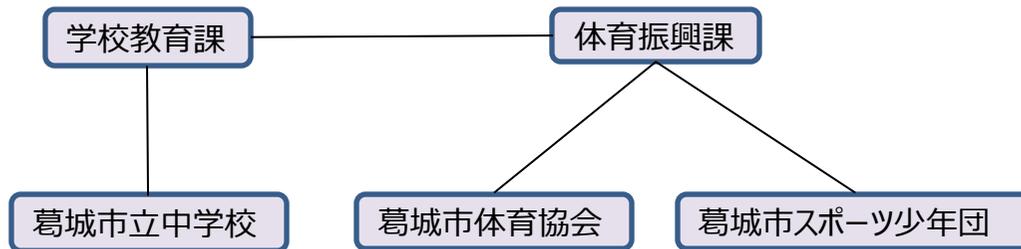


指導を希望する教員 (18人) 及び葛城市地域クラブ指導者人材バンクへの登録者 (15人) を指導候補者として地域展開を推進していく

## 2.実証内容と成果

### 運営体制・役割

#### ●運営体制図（市区町村における推進体制図）



#### ●行政組織内での役割分担

##### ◎教育委員会

- ・学校教育課・・・学校及び関係団体との連絡・調整を行うとともに、令和8年度の移行完了に向けて、指導者の確保や体制の整備、保護者への周知を進めていく。
- ・体育振興課・・・市体育協会関係者等との連絡・調整を行う。

##### ◎首長部局

- ・備品の購入、活動費・派遣費・保険代等の支出

### 年間の事業スケジュール

R6.6月

第1回葛城市立中学校における部活動の在り方検討委員会 開催

R6.7月

教員・保護者・児童生徒へアンケート調査を実施

R6.9月

第2回葛城市立中学校における部活動の在り方検討委員会 開催

R6.11月

教員へアンケート調査を実施

R6.12月

第3回葛城市立中学校における部活動の在り方検討委員会 開催

R7.2月

中学校教員へアンケート調査を実施

R7.2月

第4回葛城市立中学校における部活動の在り方検討委員会 開催

## 2.実証内容と成果

### 地域スポーツクラブ活動の運営実績

#### ①全体に関すること

中学校数	2校	実施した地域クラブ総数	1クラブ
ケース別クラブ数	A：部活動を地域移行した形のクラブ数（及び移行された部活動数）		0クラブ
	B：部活動を移行する形態ではない地域クラブ（新たな種目のクラブを新規に創設するケース等）		1クラブ
全体の指導者数	2人	全体の運営スタッフ数	2人

#### ②各クラブに関すること

クラブ名	運営団体種別	種目	実施回数	実施時間帯	参加者 (学年別)	実施期間	活動場所	指導者数	運営スタッフ数 (他クラブと兼務)	会費	大会参加方法
相撲部	行政	相撲（新）	週1回 (土)	17～19時	0人 (体験2人)	R6.4月 ～R7.3月	葛城市 相撲館 けはや座	2人	2人	無	無

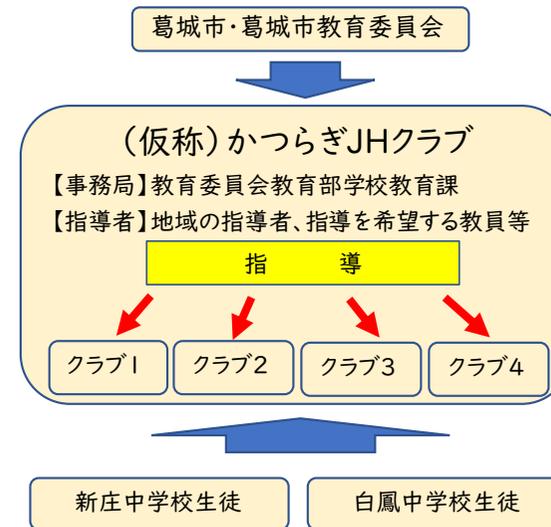
#### ③その他、体験会やイベント等の開催実績

## 主な取組例

### ●葛城市地域クラブ 活動概要

地域クラブ活動で実施した種目	相撲部
運営団体名	葛城市教育委員会
期間と日数	R6.4月～R7.3月（週1回）
指導者の主な属性	現役大学生
活動場所	葛城市相撲館けはや座
主な移動手段	現地集合
1人あたりの参加会費等（年額）	無
1人あたりの保険料	800円/年（スポーツ安全保険）

### ●運営体制図（地域クラブ活動を実施する際の運営体制図）



### ●指導者や運営スタッフなどの役割分担等

相撲館に勤務する市職員（相撲競技経験者）の管理のもと、現役大学生が主に技術指導を行う。

# 2.実証内容と成果

## ア：関係者との連絡調整・指導助言等の体制や運営団体・実施主体の整備

- イ：指導者の質の保障・量の確保
- ウ：関係団体・分野との連携強化
- エ：面的・広域的な取組

- オ：内容の充実
- カ：参加費用負担の支援等
- キ：学校施設の活用等
- ク：その他の取組



### 取組内容

#### ●取組項目名 ア：関係者との連絡調整・指導助言等の体制や運営団体・実施主体の整備

葛城市HPより

#### 取組事項

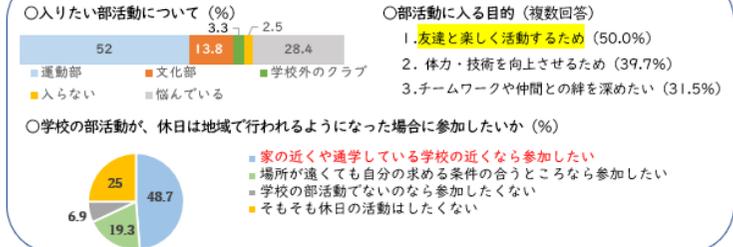
葛城市教育委員会が運営団体となり、学校施設や市内施設を利用して地域クラブ活動を推進していく方向性を定めた。令和6年度は「相撲部」を設置し、相撲館に勤務する職員や指導者となる大学生と連絡・調整を図った。指導者の所属する大学の相撲部と共に地域クラブの紹介ムービーを作成し、勧誘活動も行ったが、体験入部のみで正式な入部者はいなかった。

#### 取組の成果

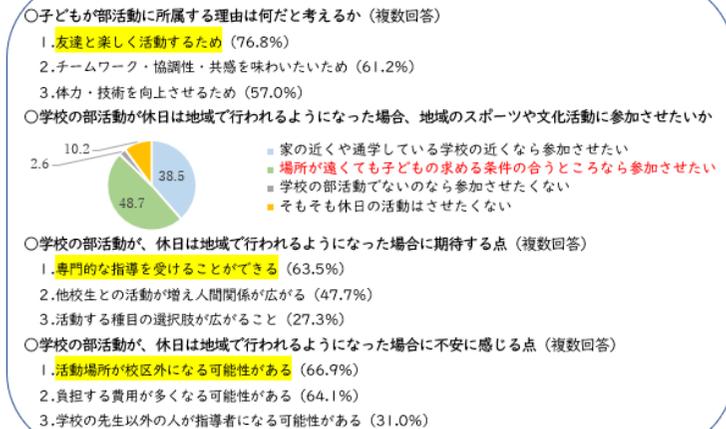
「葛城市立中学校における部活動の在り方検討委員会」を設置し、運営団体や実施主体について一定の方向性を定めることができた。また、市内小中学生とその保護者を対象に1回、市内小中学校の教員を対象に複数回のアンケートによる意識調査を行い、ニーズの把握に努めた。

「相撲部」の活動については、正式な入部者がいなかったため、活動実績をあげることができなかった。

児童（小学校4～6年生）の意識等の回答結果



保護者（小学校4～6年生）の意識等の回答結果



#### コーディネーターの具体的な動きの実績

学校及び関係機関との連絡・調整を行い、制度設計を進めた。その他にも会議における議事録の作成やアンケート調査の結果分析等を行った。

現在は令和7年度の実証事業に向けて、関係団体との連絡・調整を行っている。

#### 今後の課題と対応方針

今年度、新たに立ち上げた地域クラブへの参加者が0人であった。来年度は既存の学校部活動を地域クラブに移行することで、地域クラブ活動への参加者を増やし、改めて生徒・保護者・地域への周知を図っていきたい。

## 2.実証内容と成果

ア：関係者との連絡調整・指導助言等の体制や運営団体・実施主体の整備

**イ：指導者の質の保障・量の確保**

ウ：関係団体・分野との連携強化

エ：面的・広域的な取組

オ：内容の充実

カ：参加費用負担の支援等

キ：学校施設の活用等

ク：その他の取組



### 取組内容

#### ●取組項目名 イ：指導者の質の保障・量の確保①

##### 取組事項

「葛城市地域クラブ指導者人材バンク」を設置し、現在15名の登録状況である。

##### 人材バンクの人数

15名

##### 人材バンクの年齢構成

10代	0名
20代	1名
30代	4名
40代	3名
50代	6名
60代以上	1名

##### 登録者属性

元教員、塾講師、会社員等

##### 種目

ソフトテニス、サッカー、剣道、野球、バドミントン、バレー、バスケットボール、卓球、水泳、理科教育

##### 資格有無

約半数が指導者資格を有しており、半数以上が教員免許を所持している。

##### 取組の成果

学校用連絡アプリ、市の広報誌、市のHPを活用して周知を図ったことにより少しずつであるが、登録者数が増えている。

また「奈良県スポーツ・文化芸術指導者人材バンク」の活用に向けて、登録状況等について県担当者との連携を図っている。

##### 今後の課題と対応方針

安心・安全な活動に向けて、指導を行う上で必要な研修を教育委員会で実施し、指導者には「葛城市立中学校の部活動に係る活動方針」等を踏まえて指導にあたることを遵守させる。

##### 葛城市HPより

##### 「葛城市地域クラブ指導者人材バンク」への登録について

各種目に関する豊かな知識や経験、優れた技能等を有する地域人材を地域クラブや学校部活動の要請に応じて紹介できるよう「葛城市地域クラブ指導者人材バンク」を開設しています。

葛城市の子どもたちの未来のために、ぜひ皆様の力をお貸しください！

下記リンクより指導候補者登録をお願いします。

申請による登録後、地域クラブや学校部活動からの希望と候補者の条件が合致した場合、ご連絡させていただきます。

[葛城市地域クラブ指導候補者募集要項 \(PDFファイル: 141.8KB\)](#)

[登録申請はこちら](#)

## 2.実証内容と成果

ア：関係者との連絡調整・指導助言等の体制や運営団体・実施主体の整備

イ：指導者の質の保障・量の確保

**ウ：関係団体・分野との連携強化**

エ：面的・広域的な取組

オ：内容の充実

カ：参加費用負担の支援等

キ：学校施設の活用等

ク：その他の取組



### 取組内容

#### ●取組項目名 ウ：関係団体・分野との連携強化

##### 取組事項

葛城市体育協会、スポーツ少年団、総合型地域スポーツクラブ等と連携を密に図り、地域移行への取組を推進した。

##### 取組の成果

各協会やクラブの各種団体と協議を重ね、令和7年度以降の学校部活動の受け皿となる団体の確保や既存の学校部活動にはない種目の新設等について意見交流を行うことができた。

##### 今後の課題と対応方針

現状、地域クラブ活動の指導者候補者の中で大きな比重を占めているのが、教員である。地域に根差した持続可能な運営のためには、市内の各種団体との連携を深め、地域人材の活用をさらに進めていく必要がある。

## 2.実証内容と成果

ア：関係者との連絡調整・指導助言等の体制や運営団体・実施主体の整備  
イ：指導者の質の保障・量の確保  
ウ：関係団体・分野との連携強化  
**エ：面的・広域的な取組**

オ：内容の充実  
カ：参加費用負担の支援等  
キ：学校施設の活用等  
ク：その他の取組



### 取組内容

#### ●取組項目名 エ：面的・広域的な取組

##### 取組事項

令和7年1月に教育委員会と大阪教育大学の間で連携協定を締結した。教員養成大学との連携となるので、今後は部活動や地域クラブの指導においても大学生や大学教員との連携を積極的に進めていきたい。またそのような活動を通じて、教員を志す大学生に学校現場で子どもや先生方と触れ合う機会を提供したいと考えている。



##### 移動手段

原則として、公共交通機関を想定しているが、地理的關係上、自家用車等の使用も認めていく方法である。

##### 取組の成果

実際の運用については令和7年度を予定している。

##### 今後の課題と対応方針

大学生を地域クラブの指導者として活用するだけでなく、継続的に葛城市の地域クラブの指導又は運営に携われるような形が構築できないかを検討していきたい。

## 2.実証内容と成果

ア：関係者との連絡調整・指導助言等の体制や運営団体・実施主体の整備  
 イ：指導者の質の保障・量の確保  
 ウ：関係団体・分野との連携強化  
 エ：面的・広域的な取組

**オ：内容の充実**  
 カ：参加費用負担の支援等  
 キ：学校施設の活用等  
 ク：その他の取組



### 取組内容

#### ●取組項目名 オ：内容の充実

##### 取組事項

地域移行への取組として、学校部活動の種目にはない「相撲部」を葛城市の地域クラブとして設置をしたが、体験入部のみにとどまり、活動実績を残すことができなかった。

今後は既存の学校部活動も地域へ移行し、地域クラブ活動への参加者を増やしていくことを目標としている。

また、既存の学校部活動も休日の活動については地域クラブ活動に移行していく予定である。平日の学校部活動と休日の地域クラブとの連携を密に図り、より充実した活動になるように努めていきたい。

##### 活動の詳細

参加人数	(体験) 2名	指導者数	1人
属性	大学生		
具体的な内容	相撲の基礎練習についての指導を行った。		
子供の声	楽しく活動することができた。		
関係者の声	特記事項なし		
運営経費	指導者の賃金・交通費については市の予算で計上している。		

## 2.実証内容と成果

ア：関係者との連絡調整・指導助言等の体制や運営団体・実施主体の整備  
イ：指導者の質の保障・量の確保  
ウ：関係団体・分野との連携強化  
エ：面的・広域的な取組

オ：内容の充実  
**カ：参加費用負担の支援等**  
キ：学校施設の活用等  
ク：その他の取組



### 取組内容

#### ●取組項目名 カ：参加費用負担の支援等①

##### 取組事項

令和6年度、令和7年度ともに受益者負担は求めず、活動費や旅費、大会参加費や保険代、指導者への報酬等は市の予算で計上している。

##### 地域クラブに係る経費

###### ■イニシャルコストの分析

基本的には学校・市の施設や備品等の活用を考えている。

###### ■ランニングコストの分析

指導者の報酬や旅費、生徒の登録費や旅費、大会参加費を試算すると、1つのクラブにつきおよそ700,000円必要となる。

##### 持続的な運営に必要な受益者負担額の試算

上述の通り、1つのクラブ（部員20名で試算）の運営に必要な費用が700,000円となるので、1年間で各家庭（生徒1人）に負担を求める額は35,000円となる。

今後、国や県からの補助金等がなくなれば、月会費として1家庭（生徒1人）につき3,000円程度負担を求める必要がある。

##### 収支バランス

令和6年度については、運動部の総事業費が1,351,402円で、そのうち市において確保した財源は約62%の842,402円であった。

令和7年度については、運動部の総事業費が5,274,897円で、そのうち市において確保すべき財源は約72%の3,818,897円の予定である。

## 2.実証内容と成果

ア：関係者との連絡調整・指導助言等の体制や運営団体・実施主体の整備  
イ：指導者の質の保障・量の確保  
ウ：関係団体・分野との連携強化  
エ：面的・広域的な取組

オ：内容の充実  
**カ：参加費用負担の支援等**  
キ：学校施設の活用等  
ク：その他の取組



### 取組内容

#### ●取組項目名 カ：参加費用負担の支援等②

##### 取組の成果

現状は国からの補助があり、市でも必要な財源を確保できているため、受益者負担が発生することはなかった。

##### 今後の課題と対応方針

令和7年度の実証事業における活動費や保険代についても、国からの補助と市の予算で財源を確保する予定である。令和8年度以降については、他の自治体の取組も参考にしながら、受益者負担等について、協議を深めていく必要がある。

## 2.実証内容と成果

ア：関係者との連絡調整・指導助言等の体制や運営団体・実施主体の整備  
イ：指導者の質の保障・量の確保  
ウ：関係団体・分野との連携強化  
エ：面的・広域的な取組

オ：内容の充実  
カ：参加費用負担の支援等  
**キ：学校施設の活用等**  
ク：その他の取組



### 取組内容

#### ●取組項目名 キ：学校施設の活用等

##### 取組事項

今年度、葛城市地域クラブとして設置をした「相撲部」については、市内の施設を活動場所として設定をした。来年度以降、既存の学校部活動を移行する場合、原則は学校施設を利用する。ただし、地域移行の受け皿団体の設備が整備されており、地理的条件において問題がなければ、活動場所として利用することも認める。

##### 取組の成果

令和6年度においては、具体的な地域クラブの活動ができなかったため、成果をあげることはできなかった。

##### 今後の課題と対応方針

地域クラブの活動場所となる学校については、設備の管理方法や使用規則等について、指導者と打ち合わせを十分に行う必要がある。チェックリスト等も活用し、施設の破損・汚損や備品の紛失等のないよう、細心の注意を払った上で使用を認めていく。

### 総括・成果の評価・今後に向けて

#### ●総括

今年度、地域クラブとして設置をした「相撲部」の正式入部者がいなかったため、実証事業としては十分な成果をあげることはできなかった。

一方で、部活動地域移行コーディネーターを設置し、検討委員会を立ち上げたことで、運営主体や実施団体、来年度以降の方向性を定めることができた。

今年度は各種アンケートの実施・分析を行ったことで教員・子ども・保護者のニーズを把握することもできたので、本市にとってより良い形の地域展開を目指していきたい。

#### ●成果の評価

令和6年度においては、具体的な地域クラブの活動ができなかったため、十分な成果をあげることはできなかった。

#### ●今後に向けて

来年度は、新たに既存の学校部活動の休日の活動を地域クラブ活動に移行していると考えている。地域移行クラブ活動のメリットや魅力をしっかりと発信することにより、参加生徒を増やしていきたいと考えている。

また、指導者が不足している種目については、積極的に関係団体にアプローチすることで、受け皿団体の確保に努めていく。

## アンケート結果・参加者の声

### ●アンケート結果 葛城市HPより

#### 児童（小学校4～6年生）の意識等の回答結果

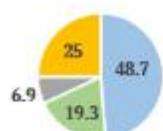
○入りたい部活動について (%)



○部活動に入る目的 (複数回答) ⇨

1. 友達と楽しく活動するため (50.0%) ⇨
2. 体力・技術を向上させるため (39.7%) ⇨
3. チームワークや仲間との絆を深めたい (31.5%) ⇨

○学校の部活動が、休日は地域で行われるようになった場合に参加したいか (%) ⇨



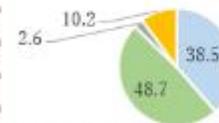
- 家の近くや通学している学校の近くなら参加したい
- 場所が遠くても自分の求める条件の合うところなら参加したい
- 学校の部活動でないのなら参加したくない
- そもそも休日の活動はしたくない

#### 保護者（小学校4～6年生）の意識等の回答結果

○子どもが部活動に所属する理由は何だと考えるか (複数回答) ⇨

1. 友達と楽しく活動するため (76.8%) ⇨
2. チームワーク・協調性・共感を味わいたいため (61.2%) ⇨
3. 体力・技術を向上させるため (57.0%) ⇨

○学校の部活動が休日は地域で行われるようになった場合、地域のスポーツや文化活動に参加させたいか



- 家の近くや通学している学校の近くなら参加させたい
- 場所が遠くても子どもの求める条件の合うところなら参加させたい
- 学校の部活動でないのなら参加させたくない
- そもそも休日の活動はさせたくない

○学校の部活動が、休日は地域で行われるようになった場合に期待する点 (複数回答) ⇨

1. 専門的な指導を受けることができる (63.5%) ⇨
2. 他校生との活動が増え人間関係が広がる (47.7%) ⇨
3. 活動する種目の選択幅が広がること (27.3%) ⇨

○学校の部活動が、休日は地域で行われるようになった場合に不安を感じる点 (複数回答) ⇨

1. 活動場所が校区外になる可能性がある (66.9%) ⇨
2. 負担する費用が多くなる可能性がある (64.1%) ⇨
3. 学校の先生以外の人が指導者になる可能性がある (31.0%) ⇨

#### 生徒（中学校1～2年生）の意識等の回答結果

○所属している部活動について (%)



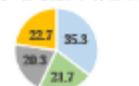
○部活動に所属している理由 (複数回答) ⇨

1. 友達と楽しく活動するため (60.5%) ⇨
2. 体力・技術を向上させるため (48.6%) ⇨
3. 大会等で良い成績を収めるため (27.2%) ⇨

○部活動の顧問の先生から指導を受けていることで、どのような良い面があるか

1. 礼儀やマナーなど生活に関する指導をもらえる (45.2%) ⇨
2. 体力・技術が向上するための指導をもらえる (43.8%) ⇨
3. 責任感や達成感について学ぶことができる (34.8%) ⇨

○学校の部活動が、休日は地域で行われるようになった場合に参加したいか (%) ⇨



- 家の近くや通学している学校の近くなら参加したい
- 場所が遠くても自分の求める条件の合うところなら参加したい
- 学校の部活動でないのなら参加したくない
- そもそも休日の活動はしたくない

○学校の部活動が、休日は地域で行われるようになった場合に期待する点 (複数回答) ⇨

1. 専門的な指導を受けることができる (36.7%) ⇨
2. 他校生との活動が増え、人間関係が広がる (36.6%) ⇨
3. 地域の人とのつながりが深まる (33.7%) ⇨

○学校の部活動が、休日は地域で行われるようになった場合に不安を感じる点 (複数回答) ⇨

1. 学校の先生以外の人が指導者になる可能性がある (43.0%) ⇨
2. 負担する費用が多くなる可能性がある (42.5%) ⇨

#### 保護者（中学校1～2年生）の意識等の回答結果

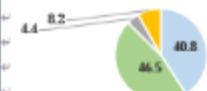
○子どもが部活動に所属する理由について (複数回答) ⇨

1. 友達と楽しく活動するため (71.2%) ⇨
2. 体力・技術を向上させるため (61.7%) ⇨

○部活動の顧問の先生から指導を受けることで、どのような良い面があるか (複数回答) ⇨

1. 責任感や達成感を育ててもらっている (55.4%) ⇨
2. 礼儀やマナーなど生活指導をもらっている (44.0%) ⇨

○学校の部活動が、休日は地域で行われるようになった場合、地域のスポーツや文化活動に参加させたいか



- 家の近くや通学している学校の近くなら参加させたい
- 場所が遠くても子どもの求める条件の合うところなら参加させたい
- 学校の部活動でないのなら参加させたくない
- そもそも休日の活動はさせたくない

○学校の部活動が、休日は地域で行われるようになった場合に期待する点 (複数回答) ⇨

1. 専門的な指導を受けることができる (67.7%) ⇨
2. 他校生との活動が増え、人間関係が広がる (49.1%) ⇨

○学校の部活動が、休日は地域で行われるようになった場合に不安を感じる点 (複数回答) ⇨

1. 活動場所が校区外になる可能性がある (74.4%) ⇨
2. 負担する費用が多くなる可能性がある (62.3%) ⇨

**お知らせ** 現在葛城市では地域クラブとして「コーラス部」と「相撲部」の部員を募集しています。見学会への参加を希望される場合は、学校教育課(0745-44-5108)までお問い合わせください。

### アンケート結果・広報資料

葛城市HPより

**葛城市地域クラブ**

**相撲部 部員募集**

男女ともに募集します!



場所：葛城市相撲館けはや座

活動日：毎月第2・第4土曜日

時間：17:00～19:00

活動費：なし ※まわしの購入費用は別途必要

見学会は随時行っております

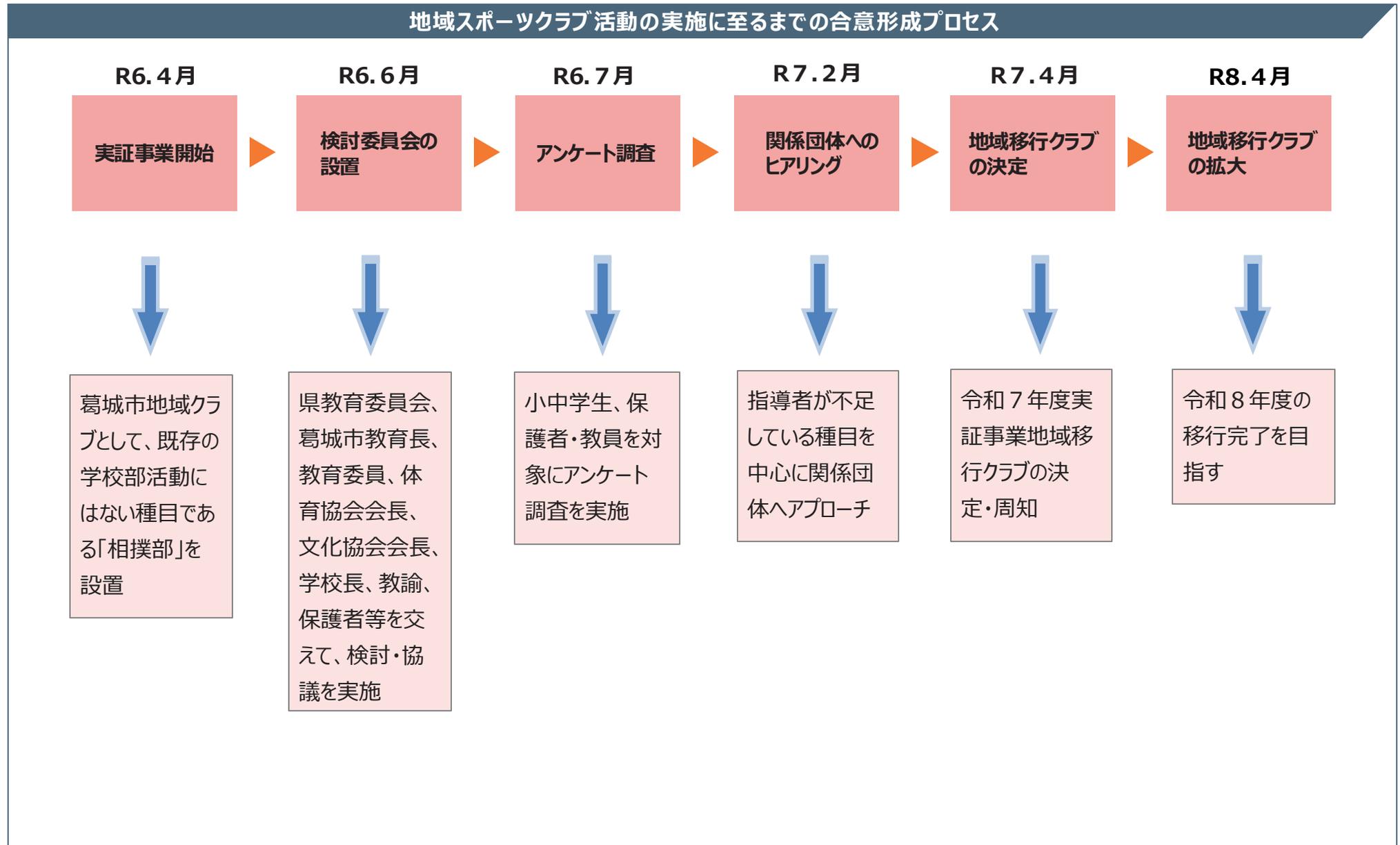
活動についてのお問い合わせは  
葛城市教育委員会学校教育課(0745-44-5108)  
担当の尾方もしくは山本までお願いします。

見学会申込QRコード→



## 2.実証内容と成果

### 地域スポーツクラブ活動の実施に至るまでの合意形成プロセス

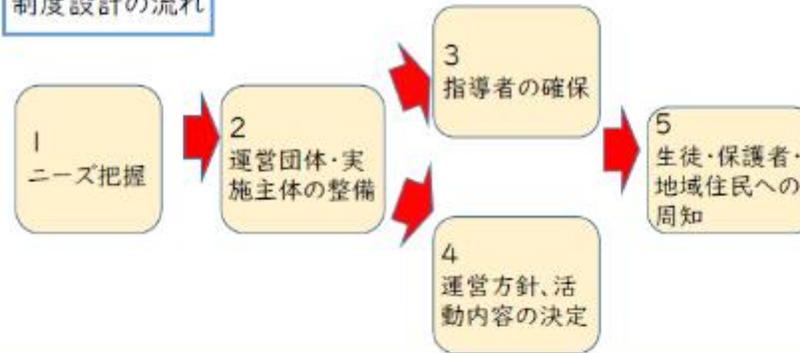


# 3. 今後の方向性

## 地域連携・地域移行の推進に向けたロードマップ

夢へチャレンジ！～地域とともに、未来をつなぐ～  
 持続性×多様化 ★

### 制度設計の流れ



	R6.6月14日	R6.9月6日	R6.12月2日	R7.2月20日	R7.4月～
検討事項	①部活動の地域移行の現状と課題 ②本市におけるスポーツ及び文化芸術活動 ③本市中学校における部活動の現状 ④今後の取組 ・ニーズ把握のためのアンケート調査の実施 ・部活動改革だよりの発行 ⑤情報交換	①アンケートから考察 ②運営団体の協議 ③指導者の確保・募集(登録)の方法 ④今後の取組 ・部活動改革だよりの発行 ⑤情報交換	①実施主体の整備 ・予算等の考え方 ②実施クラブの検討 ③指導者の応募状況 ④実施クラブの検討・協議 ⑤今後の取組の共有 ⑥情報交換	①運営方針について ②R7年度実証事業移行クラブの検討 ③生徒・保護者・地域住民への周知方法の検討 ⑤今後の取組の共有 ⑥情報交換	第2期実証事業スタート
					
	指導者の確保	R7.9月頃 決定・周知	指導者の研修等	R8.9月～ 地域移行の 実施	
	活動場所の決定		予算等の確保		